SONY

AUDIO MIXER

MXP-700 Series

MXP-716
MXP-728
MXP-744

OPERATION MANUAL Japanese

1st Edition

Serial No. 10001 and Higher

目次

第1章　概要

1-1　特長 1-2
1-2　各モジュールと電源ユニット 1-3
1-3　別売りユニット 1-3
1-4　モジュールとその挿入スロット 1-4
1-5　仕様 1-6

第2章　各部の名称と働き

2-1　前面パネルのつまみとインジケーター 2-2
2-1-1　MONO（モノラル）入力モジュール（MXBK-IM71／IM72） 2-2
2-1-2　STEREO入力モジュール（MXBK-SI71／SI72） 2-7
2-1-3　GROUPモジュール（MXBK-GP71／GP72） 2-12
2-1-4　MASTER Aモジュール（MXBK-MM71／MM72） 2-16
2-1-5　MASTER Bモジュール（MXBK-MM73／MM74） 2-19
2-1-6　MONITORモジュール（MXBK-MN71／MN72） 2-21
2-1-7　COMM（コミュニケーション）モジュール（MXBK-CM71） 2-25
2-1-8　DYNAMICSモジュール（MXBK-DY71） 2-28
2-1-9　CLEAN FEEDモジュール（MXBK-CF71／CF72） 2-30
2-1-10　MACHINE（マシンコントロール）モジュール（MXBK-MC71） 2-32
2-1-11　メーターユニット（MXBK-MU71／MU72／MU73／MU74） 2-34
2-1-12　電源ユニット（AC-P700） 2-36

第3章　準備

3-1　設置条件 3-2
3-1-1　設置スペース 3-2
3-1-2　設置環境 3-3
3-1-3　電源 3-3
3-2　電源の接続 3-4
3-3　コネクターのピン配置 3-5
3-4　ジャンパー／スイッチの設定 3-13
3-4-1　MONO（モノラル）モジュールのジャンパー／スイッチ 3-13
3-4-2　STEREOモジュールのジャンパー／スイッチ 3-14
3-4-3　GROUPモジュールのジャンパー／スイッチ 3-15
3-4-4　MASTER A、Bモジュールのジャンパー／スイッチ 3-16
3-4-5　MONITORモジュールのジャンパー／スイッチ 3-18
3-4-6　COMM（コミュニケーション）モジュールのジャンパー／スイッチ 3-19
3-4-7　DYNAMICSモジュールのジャンパー／スイッチ 3-19
3-4-8　MACHINEモジュールのジャンパー／スイッチ 3-20

第1章　概要

オーディオミキシングコンソールMXP-700シリーズは、放送局での番組制作に必要な性能と高い操作性をそなえたコンソールです。
ここでは、このコンソールの構成と別売りユニットを紹介します。また、本機の仕様を掲載しています。

1-1　特長 1-2
1-2　各モジュールと電源ユニット 1-3
1-3　別売りユニット 1-3
1-4　モジュールとその挿入スロット 1-4
1-5　仕様 1-6

1-1 特長

ここではMXP−700シリーズの特長を紹介します。

- 挿入するモジュールの数に応じた3種類のフレームサイズ：(モジュール数23、35あるいは52)
- 独立した2系統のミックスバス
- 2系統の入力を備えたモノラル入力モジュールとステレオ入力モジュール
- 8系統のグループ出力
- 6系統のセンド出力(モノラル4系統、ステレオ2系統)
- 8系統のリターン入力
- コントロールルームモニターおよび独立したスタジオモニター出力
- 4系統モノラル、2系統ステレオのクリーンフィードバス
- ミックスマイナスバス

1-2 各モデルと電源ユニット

MXP-700シリーズには、フレームサイズにより下表1-1のように3種類のコンソールがあります。それぞれのコンソールに必要な電源ユニットも下表に示します。

型名	モジュールスロット数	電源ユニット AC-P700（必要数）	予備電源ユニット AC-P700数
MXP-716	23	1	2
MXP-728	35	1	2
MXP-744	52	2	4

表1-1 MXP-700シリーズ

万一、電源供給が停止した場合に備えて、コンソールは予備電源を装備することができます。電源ケーブルMXBK-CA70は別売りです。

1-3 別売りユニット

MXP-700シリーズに対応する別売りユニットを表1-2に示します。

型名	内容
メーターユニット：	
MXNK-MU70	ブランクメーターパネル
MXBK-MU71	VUメーター，4グループ
MXBK-MU72	ピークメーター，4グループ
MXBK-MU73	VUメーター，8グループ
MXBK-MU74	ピークメーター，8グループ
コンソールスタンド	
MXBK-SU71	MXP-716用
MXBK-SU72	MXP-728用
MXBK-SU73	MXP-744用

表1-2 別売りユニット

1-4 モジュールとその挿入スロット

コンソールに挿入できるモジュールを表1-3に示します。ここでは、モジュールの種類、型名、モジュールを挿入するスロット、挿入できるモジュールの数を示します。スロットによっては、異なる種類のモジュールを挿入することができます。各スロットの番号は次ページの図1-1に示す位置に対応しています。

モジュールの種類	モジュールの型名	挿入するスロットの番号		
		MXP-716	MXP-728	MXP-744
MONO入力	MXBK-IM71 (Transformerless) MXBK-IM72 (With transformer)	1〜16および21〜23 (16本以下)	1〜28および33〜35 (28本以下)	1〜24および29〜52 (44本以下)
STEREO入力	MXBK-SI71 (Transformerless) MXBK-SI72 (With transformer)	1〜16および21〜23 (16本以下)	1〜28および33〜35 (28本以下)	1〜24および29〜52 (44本以下)
GROUP	MXBK-GP71 (Transformerless) MXBK-GP72 (With transformer)	13〜16 (8本以下，通常4本)	25〜28および21〜24 (8本以下)	21〜24および17〜20 (8本以下)
MASTER A	MXBK-MM71 (Transformerless) MXBK-MM72 (With transformer)	17のみ	29のみ	25のみ
MASTER B	MXBK-MM73 (Transformerless) MXBK-MM74 (With transformer)	18のみ	30のみ	26のみ
MONITOR	MXBK-MN71 (Transformerless) MXBK-MN72 (With transformer)	1本目は19のみ 2本目は20のみ	1本目は31のみ 2本目は32のみ	1本目は27のみ 2本目は28のみ
COMM	MXBK-CM71	20または21 (いずれか一方のみ)	32または33 (いずれか一方のみ)	28または29 (いずれか一方のみ)
DYNAMICS	MXBK-DY71	21、22または23 (2本まで)	33、34または35 (2本まで)	29、30、31または32 (2本まで)
CLEAN FEED	MXBK-CF71 (Transformerless) MXBK-CF72 (With transformer)	21、22または23 (いずれか1本のみ)	33、34または35 (いずれか1本のみ)	29、30、31または32 (いずれか1本のみ)
MACHINE	MXBK-MC71	21、22または23	33、34または35	29、30、31または32
ブランク	MXBK-BL70	必要に応じて挿入	必要に応じて挿入	必要に応じて挿入

表1-3 モジュールと挿入スロット

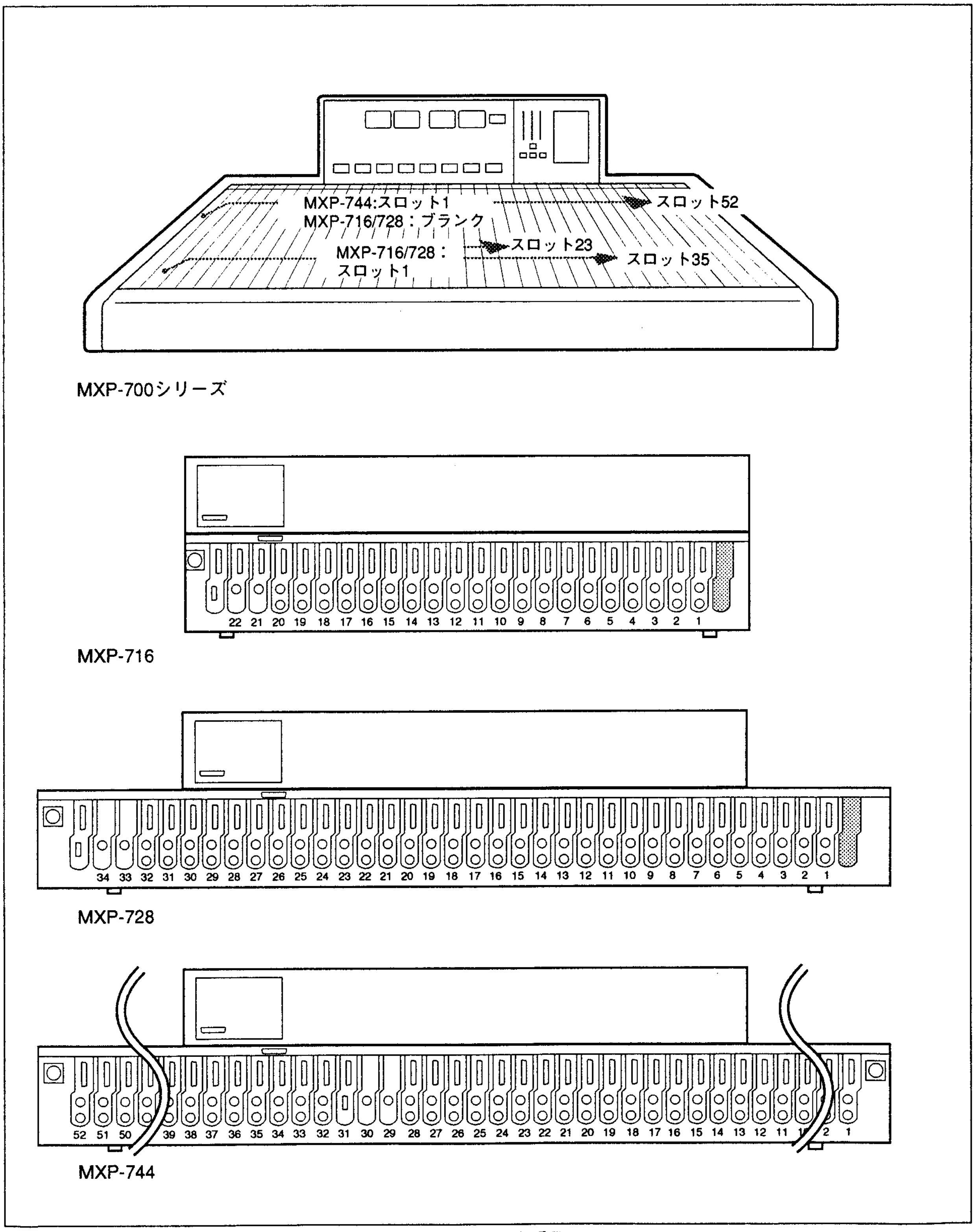

MXP-744:スロット1
MXP-716/728：ブランク
スロット52
MXP-716/728：
スロット1
スロット23
スロット35
MXP-700シリーズ
MXP-716
MXP-728
MXP-744

図1-1 スロット番号

1-5 仕様

概要

電源　90～110V AC、50/60Hz（AC-P700への入力電源）

消費電力

MXP-716：350W

MXP-728：500W

MXP-744：800W

AC-P700のDC出力

＋48V DC（0.25A時）

＋15V DC（7.8A時）

＋5V DC（1.0A時）

－15V DC（7.2A時）

コンソールの寸法、質量

型名	寸法（幅×高さ×奥行き）	質量
MXP-716	948×769.4×353.9mm	15kg
MXP-728	1368×769.4×353.9mm	25kg
MXP-744	1998×769.4×353.9mm	35kg
AC-P700	482.6×419.1×12.7mm	25kg

動作温度　＋5℃～＋35℃

保存温度　－20℃～＋60℃

動作湿度　25%～90%

オーディオ入／出力端子

マイク入力

基準入力レベル　－60dBu

最大入力レベル　＋6dBu（ゲインコントロール最小時）

インピーダンス　1.2 kΩ

回路形式　With transformer/Transformerless

ライン入力

基準入力レベル　＋4dBu

最大入力レベル　＋24dBu

インピーダンス　20 kΩ（ステレオ入力）、10kΩ（その他入力）

回路形式　With transformer/Transformerless

出力

基準出力レベル　＋4dBu

最大出力レベル　＋24dBu

インピーダンス　40Ω以下

回路形式　Transformerless

オーディオ特性

周波数特性	±0.5dB 20～20 kHz、フィルターoff、基準レベル+4dBuにて
THD（高調波歪率）およびノイズ	0.05%以下（1.0kHz、+4dBuにて）
入力換算雑音	マイク入力：−125dB以下（ゲイン最大、トリム最大時で、Ttransformerless） ライン入力：−97dB以下（トリム最大時で、Ttransformerless）
ノイズレベル	マスター（フェーダー：min.）：−90dBu チャンネル（フェーダー：min.）：−82dBu チャンネル（フェーダー：0dB）：−80dBu
クロストーク	−75dB（10kHz時）
フェーダーkill	−80dB（10kHz時）
イコライザー（フィルターoff）	高域（10kHz、シェルビング時）： ±15.0dB 中高域（150～2.5kHz、ピーキング時）： ±15.0dB 低中域（800Hz～8kHz、ピーキング時）： ±15.0dB 低域（80Hz、シェルビング時）： ±15.0dB ステレオ中域（150～5000Hz、ピーキング時）： ±15.0dB
高域フィルター	20～320Hz、12dB/Oct.
内蔵発振器	周波数：30Hz、400Hz、1kHz、4kHz、15kHz THD：3%以下

第2章　各部の名称と働き

この章では、本機のつまみおよびインジケーター、入／出力端子の名称と働きを紹介します。

2-1　前面パネルのつまみとインジケーター 2-2
2-1-1　MONO（モノラル）入力モジュール（MXBK-IM71／IM72） 2-2
2-1-2　STEREO入力モジュール（MXBK-SI71／SI72） 2-7
2-1-3　GROUPモジュール（MXBK-GP71／GP72） 2-12
2-1-4　MASTER Aモジュール（MXBK-MM71／MM72） 2-17
2-1-5　MASTER Bモジュール（MXBK-MM73／MM74） 2-19
2-1-6　MONITORモジュール（MXBK-MN71／MN72） 2-21
2-1-7　COMM（コミュニケーション）モジュール（MXBK-CM71） 2-25
2-1-8　DYNAMICSモジュール（MXBK-DY71） 2-28
2-1-9　CLEAN FEEDモジュール（MXBK-CF71／CF72） 2-30
2-1-10　MACHINE（マシンコントロール）モジュール（MXBK-MC71） 2-32
2-1-11　メーターユニット（MXBK-MU71／MU72／MU73／MU74） 2-34
2-1-12　電源ユニット（AC-P700） 2-36

2-1 前面パネルのつまみとインジケーター

2-1-1 MONO（モノラル）モジュール（MXBK-IM71／IM72）

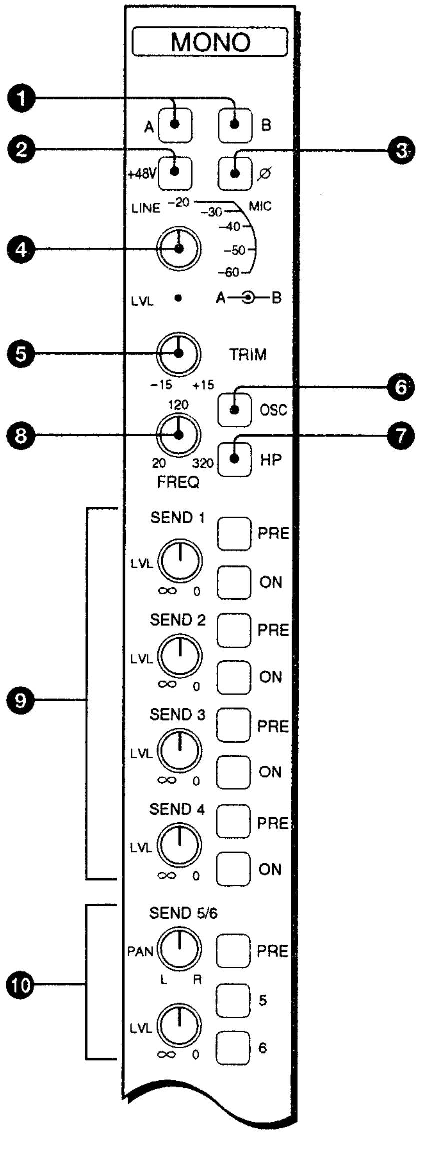


図2-1 MONO（モノラル）モジュール（MXBKIM71／IM72）（2-4ページへ続く）

このモジュールは、マイク入力などのモノラル信号を処理するモジュールです。

❶ A、Bスイッチ

本モジュールは、A、Bの独立した2系統の入力があり、このスイッチで選択します。A、Bの入力はそれぞれ単独で、もしくは同時に使用することができます。同時に使用した場合は、2系統は本モジュール内でミキシングされます。

❷ +48Vスイッチ

このスイッチを押すと、外部電源を必要とするマイクにDC +48Vを供給します。A、Bの2系統に同時に供給されます。

❸ φスイッチ

このスイッチを押すと、信号の位相が反転します。A、Bの2系統が同時に反転します。

❹ 入力ゲインつまみ

入力ゲインを調整します。（内側のつまみはA系統、外側のつまみはB系統を調整します）。

設定	公称基準レベル
LINE	ライン入力が選択され、+4dBuが基準入力になります。
-20、-30、-40、50、-60	マイク入力が選択され、左記のレベルが基準入力になります。

❺ LVL TRIMつまみ

内側のつまみでA系統、外側のつまみでB系統の入力ゲインを微調整します。調整範囲は、❹ 入力ゲインつまみの設定に対して、±15dBです。中央位置で公称基準レベルになります。

❻ OSCスイッチ

このスイッチを押すと、COMMモジュールのオシレーター出力が入力信号系に挿入されます。

❼ HPスイッチ

このスイッチを押すと、内蔵のハイパスフィルターが信号系に挿入されます。カットオフ周波数は❽周波数調整つまみで調整します。

❽ 周波数調整つまみ

20〜320Hzの範囲で（12dB/oct.）、ハイパスフィルターのカットオフ周波数を選択します。

❾ SEND 1〜4　LVLつまみ、およびPREスイッチ、ONスイッチ

モジュールの信号をモノラルセンドバス1〜4系統にアサインします。

PREスイッチ：スイッチが押し込まれていると、プリフェーダー信号がセンド信号になります。通常の位置では、ポストフェーダー信号がセンド信号になります。

LVLつまみ：選択した信号のレベルを調整します。調整範囲は∞(最大減衰値)〜0dB(ユニティゲイン値)です。

ONスイッチ:このスイッチを押すと、選択した信号がスイッチに対応するモノラルセンドバスに送出されます。

❿ SEND 5/6　LVLつまみ、およびPAN、PRE、5、6スイッチ

モジュールの信号をステレオセンドバス5あるいは6にアサインします。

PREスイッチ：スイッチが押し込まれていると、プリフェーダー信号がセンド信号になります。通常の位置では、ポストフェーダー信号がセンド信号になります。

LVLつまみ：選択した信号のレベルを調整します。調整範囲は∞〜0dBです。

PANつまみ：選択した信号を、指定したバスの奇数番号ラインあるいは偶数番号ラインにパンポット調整します。L位置にすると、ユニティゲインレベルの信号が奇数番号バスに送出され、偶数番号バスは完全に減衰されます。R位置にすると、ユニティゲインレベルの信号が偶数番号バスに送出され、奇数番号バスは完全に減衰されます。中央位置では、−4.5dBの信号が奇数／偶数バスに送出されます。

5スイッチ：このスイッチを押すと、パンポット調整された信号がステレオバス5に送出されます。

6スイッチ：このスイッチを押すと、パンポット調整された信号がステレオバス6に送出されます。

(2-5ページへ続く)

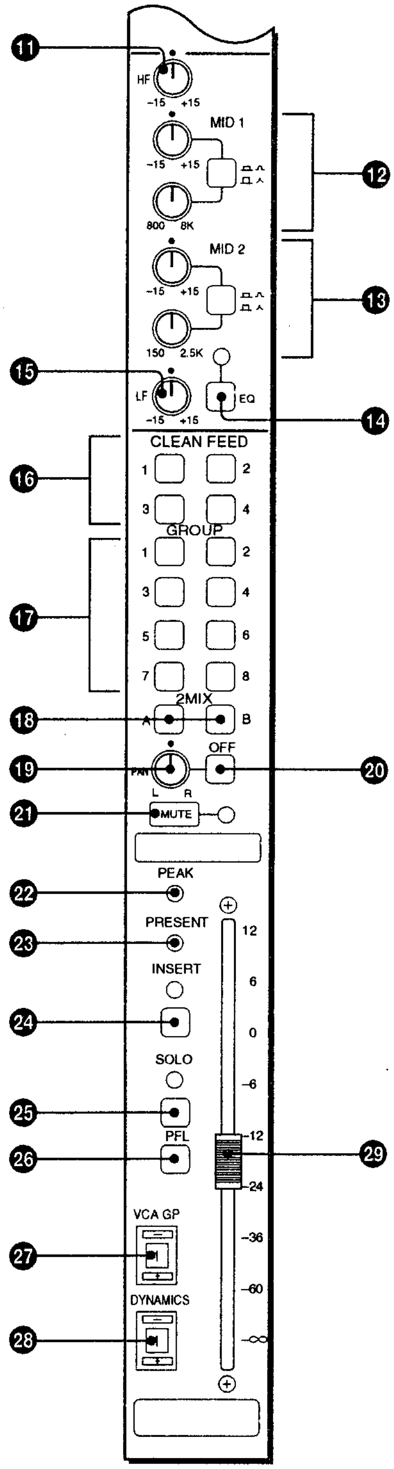


図2-2 MONOモジュール（MXBK-IM71／IM72）（2-2ページから続く）

⓫ HFつまみ
10kHz、±15dBの範囲で、シェルビングタイプのイコライザーを調整します。

⓬ MID 1 レスポンス調整および中心周波数調整つまみ、帯域幅切り換えスイッチ
レスポンス調整つまみ：ピーキングタイプのイコライザーで、±15dBの範囲でブーストあるいはカットします。

中心周波数調整つまみ：ブーストあるいはカットする周波数を800Hz～8kHzの範囲で調整します。

帯域幅切り換えスイッチ：中域フィルターの帯域幅を切り換えます：スイッチが押し込まれていると、狭帯域（Q=1.5）です。通常の位置では、広帯域（Q=0.5）に設定されています。

⓭ MID 2 レスポンス調整および中心周波数調整つまみ、帯域幅切り換えスイッチ
レスポンス調整つまみ：ピーキングタイプのイコライザーで、±15dBの範囲でブーストあるいはカットします。

中心周波数調整つまみ：ブーストあるいはカットする周波数を150Hz～2.5kHzの範囲で調整します。

帯域幅切り換えスイッチ：中域フィルターの帯域幅を切り換えます。スイッチが押し込まれていると、狭帯域(Q=1.5)です。通常の位置では、広帯域(Q=0.5)に設定されています。

⓮ EQスイッチ
このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、モジュールのプリフェーダーにイコライザーが挿入されます。

⓯ LF レスポンス調整つまみ
80Hz、±15dBの範囲で、シェルビング特性のイコライザーを調整します。

⓰ CLEAN FEED 1～4スイッチ
押したスイッチに対応するモノラルクリーンフィードバスに、ポストフェーダー信号が出力します。複数のバスに同時に出力することもできます。

⓱ GROUP 1～8スイッチ
押したスイッチに対応するグループバスに、信号が出力します。複数のバスに同時に出力することもできます。

⓲ 2MIX A、2MIX Bスイッチ
押したスイッチに対応する2MIXバスに、信号が出力します。二つのバスに同時に出力することもできます。

⓳ PANつまみ
パンは、㉑MUTEスイッチと⑳OFFスイッチが押し込まれていない場合に有効です。

つまみをLにすると、ポストフェーダー信号のレベルは、選択したバスのLラインでユニティゲインになり、Rラインで最大減衰値になります。グループバスのL(奇数番号)ラインは1、3、5、7です。

つまみをRにすると、ポストフェーダー信号のレベルは、選択したバスのLラインで最大減衰値になり、Rラインでユニティゲインになります。グループバスのR(偶数番号)ラインは2、4、6、8です。

中央位置で、偶数／奇数番号ラインは同レベル(−4.5dB)になります。

⑳ OFFスイッチ
このスイッチを押すと、パンポット調整はバイパスされます。

㉑ MUTEスイッチ／インジケーター
このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、信号がミュートします。

㉒ PEAKインジケーター
プリフェーダー信号のレベルが20dB以上のとき、点灯します。

㉓ PRESENTインジケーター
プリフェーダー信号のレベルが−20dB以上のとき、点灯します。

㉔ INSERTスイッチ
このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、インサーション機能が働きます。インサーションポイントは、内部ジャンパーでイコライザーの前段あるいは後段に設定できます(工場出荷時は前段に設定されています)。

㉕ SOLOスイッチ
このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、ポストフェーダー／ポストパンポット信号がSOLOバスに送出されます。

㉖ PFLスイッチ
スイッチを押している間、プリフェーダー信号がPFLバスに送出されます。

㉗ VCA GP選択スイッチ
このスイッチは、VCA GPのグループバス選択スイッチです。このスイッチで選択した番号のグループモジュール上のVCA GPフェーダーで、本モジュールの音量を調整することができます。「L」(ローカル)が表示されている場合、本モジュールはどのグループバスにも接続されません。

㉘ DYNAMICS選択スイッチ
このスイッチで、8個のダイナミクスモジュールの中から任意の番号を選択します。信号の圧縮、伸長、ゲート処理が不要な場合は、スイッチを「L」(ローカル)に設定します。

㉙ フェーダー
本モジュール のVCAのレベルを調整します。最大ゲインは、入力レベルの約＋12dBです。

2-1-2　STEREOモジュール（MXBK-S171／S172）

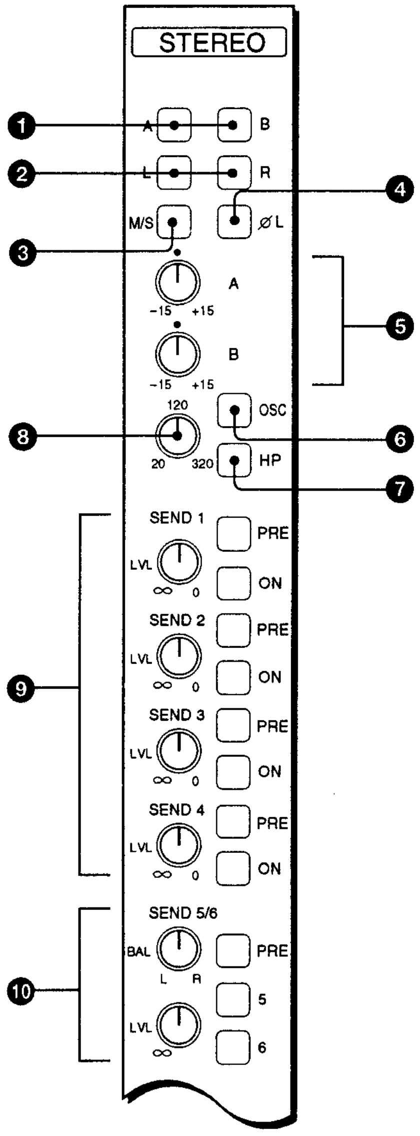


図2-3　STEREOモジュール（MXBK-S171/S172）（2-9ページへ続く）

このモジュールは、ラインレベルのステレオ信号を処理する入力モジュールです。

❶ Aスイッチ、Bスイッチ

本モジュールは、A、Bの独立した2系統の入力があり、このスイッチで選択します。A、Bの入力はそれぞれ単独で、もしくは同時に使用することができます。同時に使用した場合は、2系統は本モジュール内でミキシングされます。

❷ Lスイッチ、Rスイッチ

下表のように入力モードを選択します。

L	R	入力モード
通常の位置	通常の位置	ステレオモード
押し込まれている	通常の位置	Lチャンネルの入力信号が、このモジュールのL/R両チャンネルに入力される。
通常の位置	押し込まれている	Rチャンネルの入力信号が、このモジュールのL/R両チャンネルに入力される。
押し込まれている	押し込まれている	L+Rモード

❸ M/Sスイッチ

M/S形式の信号を入力する場合に使用します。このスイッチを押すと、内蔵のM/Sデコーダーが働き、M/S信号をL/R信号に変換します。

❹ φL（Lチャンネル位相反転）スイッチ

このスイッチを押すと、Lチャンネル入力信号の位相が180°反転します。

❺ Aつまみ、Bつまみ

対応する入力のレベルを微調整します。調整範囲は±12dBです。

❻ OSCスイッチ

このスイッチを押すと、COMMモジュールのオシレーター出力が入力信号系に挿入されます。

❼ HPスイッチ

このスイッチを押すと、内蔵のハイパスフィルターが信号系に挿入されます。カットオフ周波数は❽周波数調整つまみで調整します。

❽ 周波数調整つまみ

20〜320Hzの範囲で（12dB/oct.）、ハイパスフィルターのカットオフ周波数を選択します。

❾ SEND 1〜4　LVLつまみおよびPRE、ONスイッチ

内部でL+Rの処理をしてから、モジュールの信号をモノラルセンドバス1〜4系統にアサインします。

PREスイッチ：スイッチが押し込まれていると、プリフェーダー信号がセンド信号になります。通常は、ポストフェーダー信号がセンド信号になります。

LVLつまみ：選択した信号のレベルを調整します。調整範囲は−∞(最大減衰値)〜0dB(ユニティゲイン値)です。

ONスイッチ:このスイッチを押すと、選択した信号がスイッチに対応するモノラルセンドバスに送出されます。

❿ SEND 5/6　LVLつまみおよびBALつまみ、PRE、5、6スイッチ

ステレオ信号のまま処理をしてから、モジュールの信号をステレオセンドバス5あるいは6系統にアサインします。

PREスイッチ：スイッチが押し込まれていると、プリフェーダー信号の内容がセンド信号になります。通常は、ポストフェーダー信号がセンド信号になります。

LVLつまみ：選択した信号のレベルを調整します。調整範囲は−∞〜0dBです。

BALつまみ：選択された信号のバランスを調整します。

5スイッチ:このスイッチを押すと、パンポット調整された信号がステレオバス5に送出されます。

6スイッチ:このスイッチを押すと、パンポット調整された信号がステレオバス6に送出されます。

⓫ HFつまみ

10kHz、±15dBの範囲で、シェルビングタイプのイコライザーを調整することができます。

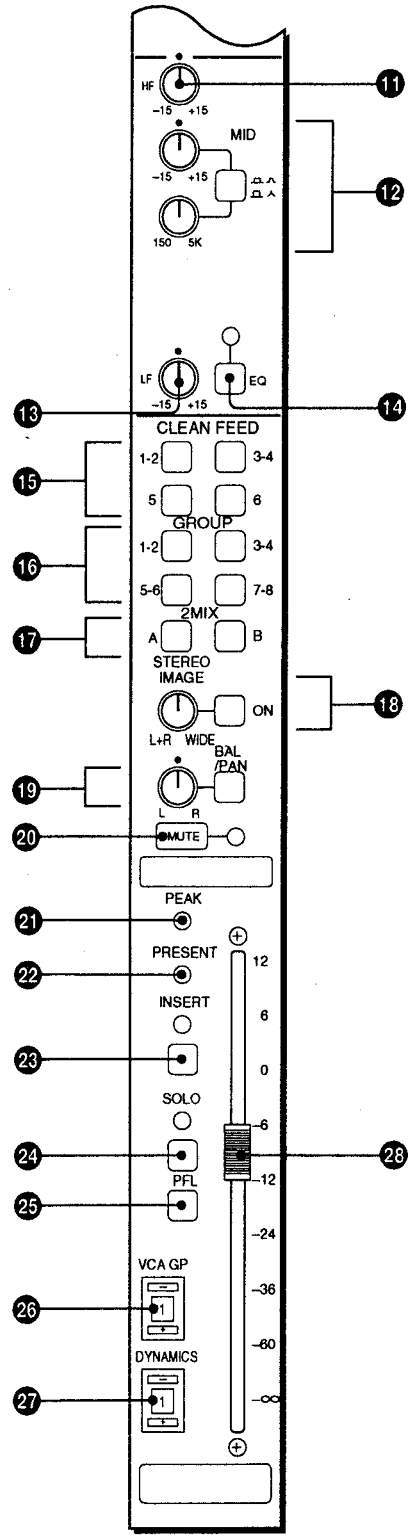


図2-4 STEREOモジュール（MXBK-SI71/SI72）(2-7ページから続く)

⑫ MID レスポンス調整および中心周波数調整つまみ、帯域幅切り換えスイッチ

レスポンス調整つまみ：ピーキングタイプのイコライザーで、±15dBの範囲でブーストあるいはカットします。

中心周波数調整つまみ：ブーストあるいはカットする周波数を150Hz～5kHzの範囲で調整します。

帯域幅切り換えスイッチ：フィルターの帯域幅を切り換えます。スイッチが押し込まれていると、狭帯域(Q=1.5)に設定されます。通常は、広帯域(Q=0.5)です。

⑬ LF　レスポンス調整つまみ

80Hz、±15dBの範囲で、シェルビング特性のイコライザーを調整することができます。

⑭ EQスイッチ

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、モジュールのプリフェーダーにイコライザーが挿入されます。

⑮ CLEAN FEED 1-2／3-4／5／6スイッチ

1-2スイッチ：このスイッチが押し込まれていると、パンポット調整後の左チャンネル信号が、クリーンフィードバスライン1に、右チャンネル信号が、クリーンフィードバスライン2に送出されます。

3-4スイッチ：このスイッチが押し込まれていると、パンポット調整後の左チャンネル信号が、クリーンフィードバスライン3に、右チャンネル信号が、クリーンフィードバスライン4に送出されます。

5、6スイッチ：いずれかのスイッチが押し込まれていると、パンポット調整後のステレオ信号が、対応するクリーンフィードバスラインに送出されます。

⑯ GROUP 1-2／3-4／5-6／7-8スイッチ

押し込まれたスイッチに対応するグループバスに、バランス調整後の信号が送出されます。左チャンネルの信号は、奇数番号のバスラインに送出されます。右チャンネルの信号は、偶数番号のバスラインに送出されます。例えば、3-4スイッチが押し込まれている場合は、左チャンネル信号は、グループバスライン3に送出され、右チャンネル信号は、グループバスライン4に送出されます。

⑰ 2MIX A、2MIX Bスイッチ

バランス調整後の信号をMIXA／Bのバスへ送出します。

⑱ STEREO IMAGEスイッチ、つまみ

ONスイッチ：このスイッチを押すと、ステレオイメージ回路が働きます。

つまみ：L+R(モノラル)～STEREO(通常のステレオ)～WIDE(ワイドステレオ)の間で、ステレオイメージを調整することができます。

⑲ BAL/PANスイッチ、つまみ

BAL/PANスイッチが押し込まれていると、つまみはパンポット調整機能として働きます。つまみをLに設定すると、ステレオ信号のLチャンネルが基準レベルになり、Rチャンネルは絞り切ることができます。中央位置にすると、両チャンネルは−4.5dBゲインになります。

BAL/PANスイッチが通常の位置にあると、つまみはバランス調整機能として働きます。つまみをLにすると、ステレオ信号のLチャンネルがRチャンネルより6dB高くなります。Rにすると、RチャンネルがLチャンネルより6dB高くなります。中央位置にすると、両チャンネルは−2dBゲインになります。

⑳ MUTEスイッチ／インジケーター

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、ポストフェーダー信号がミュートします。

㉑ PEAKインジケーター

プリフェーダー信号のレベルが20dB以上のとき、点灯します。

㉒ PRESENTインジケーター

プリフェーダー信号のレベルが−20dB以上のとき、点灯します。

㉓ INSERTスイッチ

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、インサーション機能が働きます。インサーションポイントは、内部ジャンパーでイコライザーの前段あるいは後段に設定できます(工場出荷時は前段に設定されています)。

㉔ SOLOスイッチ
このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、ポストフェーダー／ポストパン信号がSOLOバスに送出されます。

㉕ PFLスイッチ
スイッチを押している間、プリフェーダー信号がPFLバスに送出されます。この信号は、L＋Rです。

㉖ VCA GP選択スイッチ
このスイッチは、VCA GPのグループバス選択スイッチです。このスイッチで選択した番号のグループモジュール上のVCA GPフェーダーで、本モジュールの音量を調整することができます。「L」(ローカル)が表示されている場合、本モジュールはどのグループバスにも接続されません。

㉗ DYNAMICS選択スイッチ
このスイッチで、8個のダイナミクスモジュールの中から任意の番号を選択します。信号の圧縮、伸長、ゲート処理が不要な場合は、スイッチを「L」(ローカル)に設定します。

㉘フェーダー
本モジュール のVCAのレベルを調整します。最大ゲインは、入力レベルの約＋12dBです。

2-1-3　GROUPモジュール（MXBK-GP71/GP72）

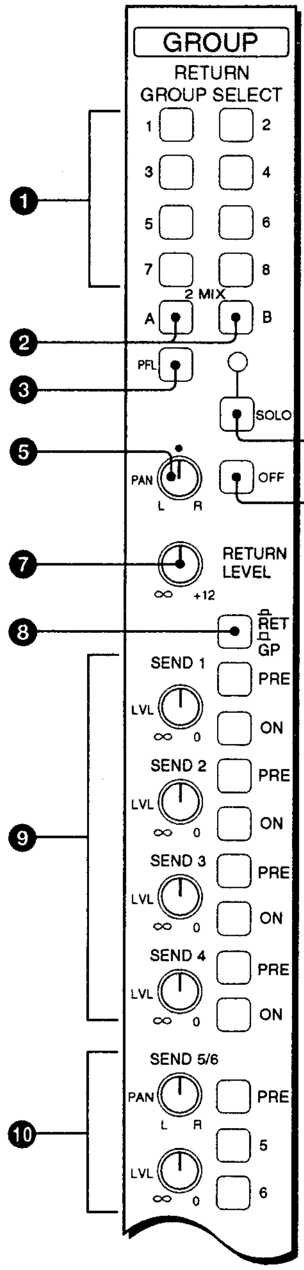


図2-5　GROUPモジュール（MXBK-GP71/GP72）（2-14ページへ続く）

GROUPモジュールは、リターン入力機能と、MONOモジュールおよびSTEREOモジュールのグルーピング機能を持っています。RETURN INPUT信号は、後面の上段のXLRコネクターを通して入力します。

❶ RETURN GROUP SELECT 1〜8スイッチ

押したスイッチに対応するグループバスに、GROUPモジュールの信号が出力します。複数のバスに同時に出力することもできます。

❷ 2MIX A、Bスイッチ

押したスイッチに対応する2MIXバスに信号が出力します。二つのバスに同時に出力することもできます。

❸ PFLスイッチ

スイッチを押している間、プリフェーダーのリターン信号がPFLバスに送出されます。

❹ SOLOスイッチ

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、ポストフェーダー／ポストパンポット信号がSOLOバスに送出されます。

❺ PANつまみ

リターン信号のパンは、❻OFFスイッチが押し込まれていない場合に有効です。

つまみをLにすると、ポストフェーダー信号のレベルは、選択したバスのLラインでユニティゲインになり、Rラインで最大減衰値になります。グループバスのL（奇数番号）ラインは1、3、5、7です。

つまみをRにすると、ポストフェーダー信号のレベルは、選択したバスのLラインで最大減衰値になり、Rラインでユニティゲインになります。グループバスのR（偶数番号）ラインは2、4、6、8です。

中央位置で、偶数／奇数番号ラインは同レベル(−4.5dB)になります。

❻ OFFスイッチ

このスイッチを押すと、❺PANつまみはバイパスされ、ユニティゲインの信号が奇数／偶数番号のバスに送出されます。

❼ RETURN LEVELつまみ

リターン信号のレベルを調整します。調整範囲は∞〜＋12dBです。

❽ RET／GR選択スイッチ

スイッチが押しこまれていると、リターン系信号がセンドバスに送出されます。通常の位置では、グループ信号がセンドバスに送出されます。

❾ SEND 1〜4 LVLつまみ、およびPRE、ONスイッチ

モジュールのリターン信号あるいはグループ信号を、センドバス1〜4にアサインします。アサインする信号の選択は、❽RET／GR選択スイッチで行います。

PREスイッチ：スイッチが押し込まれていると、リターン信号のプリフェーダー信号あるいはグループ信号がセンド信号になります。通常は、ポストフェーダー信号がセンド信号になります。

LVLつまみ：選択した信号のレベルを調整します。調整範囲は∞(最大減衰値)〜0dB(ユニティゲイン値)です。

ONスイッチ:このスイッチを押すと、選択した信号がこのスイッチに対応するモノラルセンドバスに送出されます。

❿ SEND 5/6 PANつまみ、LVLつまみ、およびPRE、5、6スイッチ

モジュールのリターン信号あるいはグループ信号を、ステレオセンドバス5あるいは6にアサインします。アサインする信号の選択は、❽RET／GP選択スイッチで行います。

PREスイッチ：スイッチが押し込まれていると、リターン信号あるいはグループ信号のプリフェーダー信号がセンド信号になります。通常の位置では、ポストフェーダー信号がセンド信号になります。

LVLつまみ：選択した信号のレベルを調整します。調整範囲は∞〜0dBです。

PANつまみ：選択した信号を、指定したバスの奇数番号ラインあるいは偶数番号ラインにパンポット調整します。Lにすると、ユニティゲインレベルの信号が、奇数番号バスに送出され、偶数番号バスは完全に減衰されます。Rにすると、ユニティゲインレベルの信号が偶数番号バスに送出され、奇数番号バスは完全に減衰されます。中央位置では、−4.5dBの信号が奇数／偶数バスに送出されます。

5スイッチ：このスイッチを押すと、パンポット調整された信号がステレオバス5に送出されます。

6スイッチ：このスイッチを押すと、パンポット調整された信号がステレオバス6に送出されます。

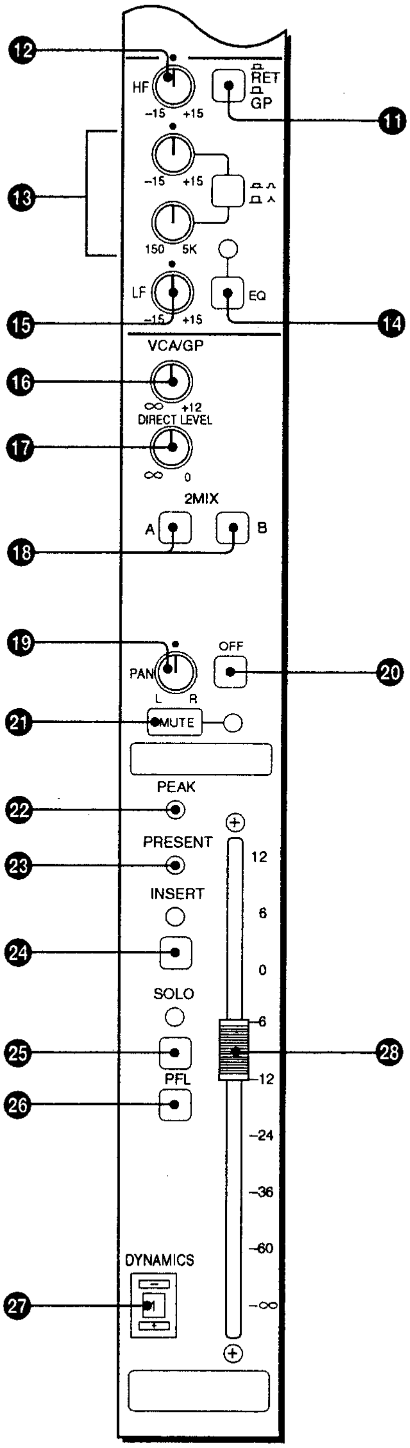


図2-6　GROUPモジュール（MXBK-GP71/GP72）（2-12ページから続き）

⓫ RET／GR選択スイッチ
スイッチが押し込まれていると、イコライザー回路がリターン系に挿入されます。通常の位置では、イコライザー回路がグループ系に挿入されます。

⓬ HF　レスポンス調整つまみ
10kHz、±15dBの範囲で、シェルビングタイプのイコライザーを調整することができます。

⓭ MID　レスポンス調整つまみおよび中心周波数調整つまみ、帯域幅切り換えスイッチ
レスポンス調整つまみ：ピーキングタイプのイコライザーで、±15dBの範囲でブーストあるいはカットします。

中心周波数調整つまみ：ブーストあるいはカットする周波数を150Hz～5kHzの範囲で調整します。

帯域幅切り換えスイッチ：中域フィルターの帯域幅を切り換えます：スイッチが押し込まれていると、狭帯域(Q=1.5)です。通常は、広帯域(Q=0.5)に設定されています。

⓮ EQスイッチ
このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、イコランザー回路がモジュールのプリフェーダー系に入ります。

⓯ LF　レスポンス調整つまみ
80Hz、±15dBの範囲で、シェルビングタイプのイコライザーを調整することができます。

⓰ VCA/GPつまみ
このつまみは、GROUPモジュールにアサインされたMONOモジュールおよびSTEREOモジュールのVCAのグループマスターです。調整範囲は、∞(最大減衰値)～＋12(＋12dBゲイン値)です。

⓱ DIRECT LEVELつまみ
DIRECT GROUP OUTPUTコネクター(GROUPモジュール後面のXLR-3-32型コネクター)に出力する信号のレベルを調整します。この信号は内部ジャンパーの設定によって、プリフェーダー／ポストフェーダーに切り換えることができます。調整範囲は、∞(最大減衰値)～0(＋12dBゲイン値)です。

⓲ 2MIX A、2MIX Bスイッチ
押したスイッチに対応する2MIXバスに、信号が出力します。二つのバスに同時に出力することもできます。

⓳ PANつまみ
パンは、㉑MUTEスイッチと⓴OFFスイッチが押し込まれていない場合に有効です。

つまみをLにすると、ポストフェーダー信号のレベルは、選択したバスのLラインでユニティゲインになり、Rラインで最大減衰値になります。グループバスのL（奇数番号）ラインは1、3、5、7です。

つまみをRにすると、ポストフェーダー信号のレベルは、選択したバスのLラインで最大減衰値になり、Rラインでユニティゲインになります。グループバスのR（偶数番号）ラインは2、4、6、8です。

中央位置で、偶数／奇数番号ラインは同レベル(−4.5dB)になります。

⓴ OFFスイッチ
このスイッチを押すとパンポット調整はバイパスされます。

㉑ MUTEスイッチ／インジケーター
このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、信号がミュートされます。

㉒ PEAKインジケーター
プリフェーダー信号のレベルが20dB以上のとき、点灯します。

㉓ PRESENTインジケーター
プリフェーダー信号のレベルが−20dB以上のとき、点灯します。

㉔ INSERTスイッチ
このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、インサーション機能が働きます。インサーションポイントは、内部ジャンパーでイコライザーの前段あるいは後段に設定できます(工場出荷時は前段に設定されています)。

㉕ SOLOスイッチ
このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、ポストフェーダー／ポストパン信号がSOLOバスに送出されます。

㉖ PFLスイッチ
スイッチを押している間、プリフェーダー信号がPFLバスに送出されます。

㉗ DYNAMICS選択スイッチ
このスイッチで、8個のダイナミクスモジュールの中から任意の番号を選択します。信号の圧縮、伸長、ゲート処理が不要な場合は、スイッチを「L」(ローカル)に設定します。

㉘ フェーダー
グループ信号のレベルを調整します。最大ゲインは＋12dBです。

2-1-4 MASTER Aモジュール（MXBK-MM71/MM72）

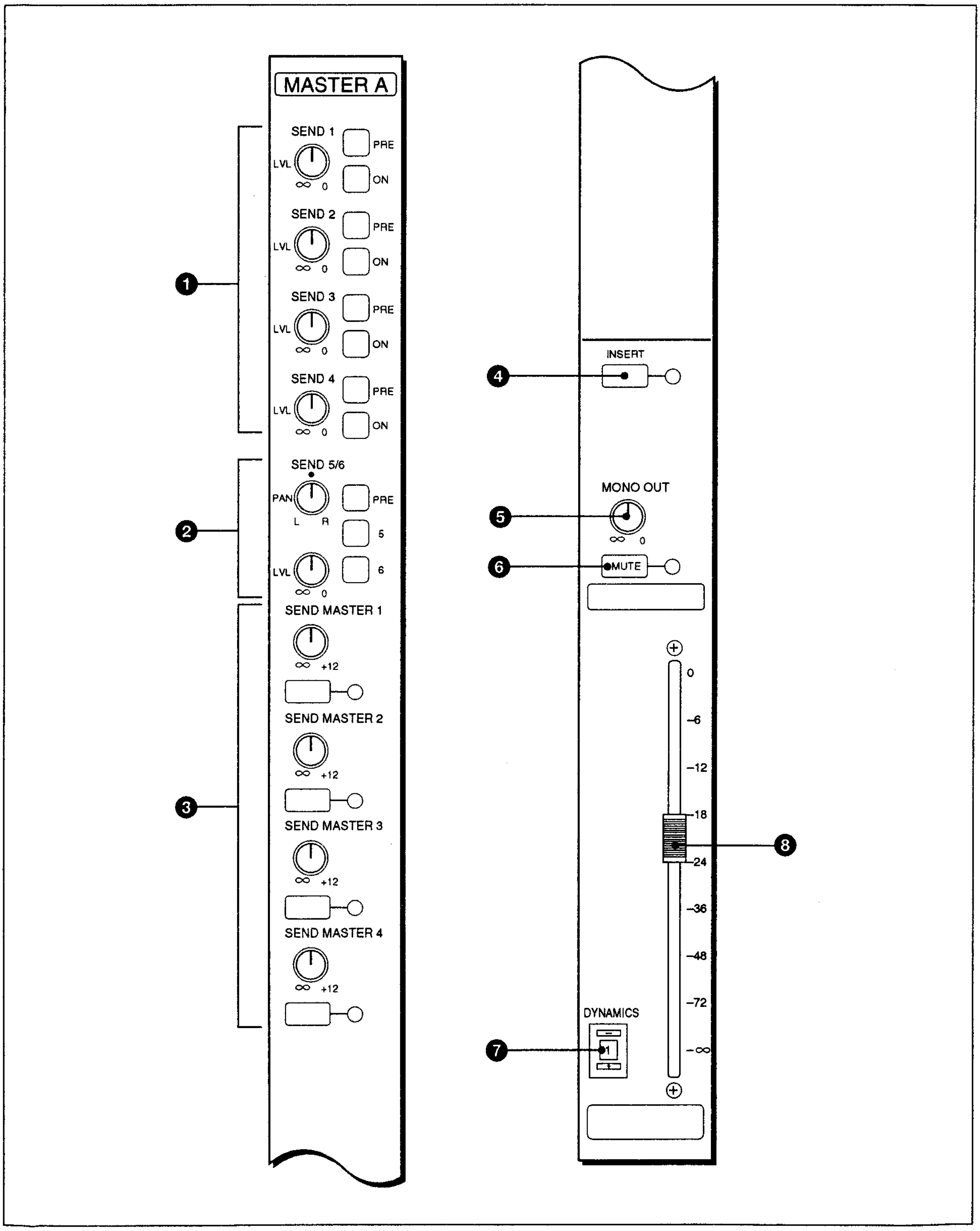


図2-7 MASTER Aモジュール（MXBK-MM71/MM72）

MASTER Aモジュールは、2MIX A信号を処理します。

❶ SEND 1~4　LVLつまみおよびPRE、ONスイッチ

モジュールの信号をモノラルセンドバス1~4系統にアサインします。

PREスイッチ：スイッチが押し込まれていると、プリフェーダー信号がセンド信号になります。通常の位置では、ポストフェーダー信号がセンド信号になります。

LVLつまみ：選択した信号のレベルを調整します。調整範囲は∞(最大減衰値)~0dB(ユニティゲイン値)です。

ONスイッチ:このスイッチを押すと、選択した信号がスイッチに対応するモノラルセンドバスに送出されます。

❷ SEND 5/6 LVLおよびPANつまみ、PRE、5、6スイッチ

モジュールの信号をステレオセンドバス5あるいは6にアサインします。

PREスイッチ：スイッチが押し込まれていると、プリフェーダー信号がセンド信号になります。通常の位置では、ポストフェーダー信号がセンド信号になります。

LVLつまみ：選択した信号のレベルを調整します。調整範囲は∞~0dBです。

PANつまみ：選択した信号を、指定したバスの奇数番号ラインあるいは偶数番号ラインにパンポット調整します。つまみをLにすると、ユニティゲインレベルの信号が奇数番号バスに送出され、偶数番号バスは完全に減衰されます。Rにすると、ユニティゲインレベルの信号が偶数番号バスに送出され、奇数番号バスは完全に減衰されます。中央位置では、−4.5dBの信号が奇数/偶数バスに送出されます。

5スイッチ：このスイッチを押すと、パンポット調整された信号がステレオバス5に送出されます。

6スイッチ：このスイッチを押すと、パンポット調整された信号がステレオバス6に送出されます。

❸ SEND MASETER 1~4　レベル調整つまみ、ONスイッチ

モノラルセンド1~4のマスターセクションです。

レベル調整つまみ：各センド出力のマスターフェーダーです。本機のセンド出力のレベルを調整します。調整範囲は最大+12 dB(最大ゲイン)です。

ONスイッチ：このスイッチを押すと、センド信号がモジュール後面のD SUBコネクターから出力されます。

❹ INSERTスイッチ

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、インサーション機能が働きます。インサーションポイントは、内部ジャンパーでイコライザーの前段あるいは後段に設定できます(工場出荷時は前段に設定されています)。

❺ MONO OUTつまみ

2MIX AのL+R信号の出力を調整します。出力は、後面のD SUBコネクターから送出されます。調整範囲は−∞~0dBです。

❻ MUTEスイッチ/インジケーター

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、すべての2MIX A信号がミュートされます。

❼ DYNAMICSロータリースイッチ

このスイッチで、8個のダイナミクスモジュールの中から任意の番号を選択します。信号の圧縮、伸長、ゲート処理が不要な場合は、スイッチを「L」(ローカル)に設定します。

❽ フェーダー

2MIX Aのマスターフェーダーです。基準位置は、最上位置で、ゲインはありません。

2-1-5 MASTER Bモジュール（MXBK-MM73/MM74）

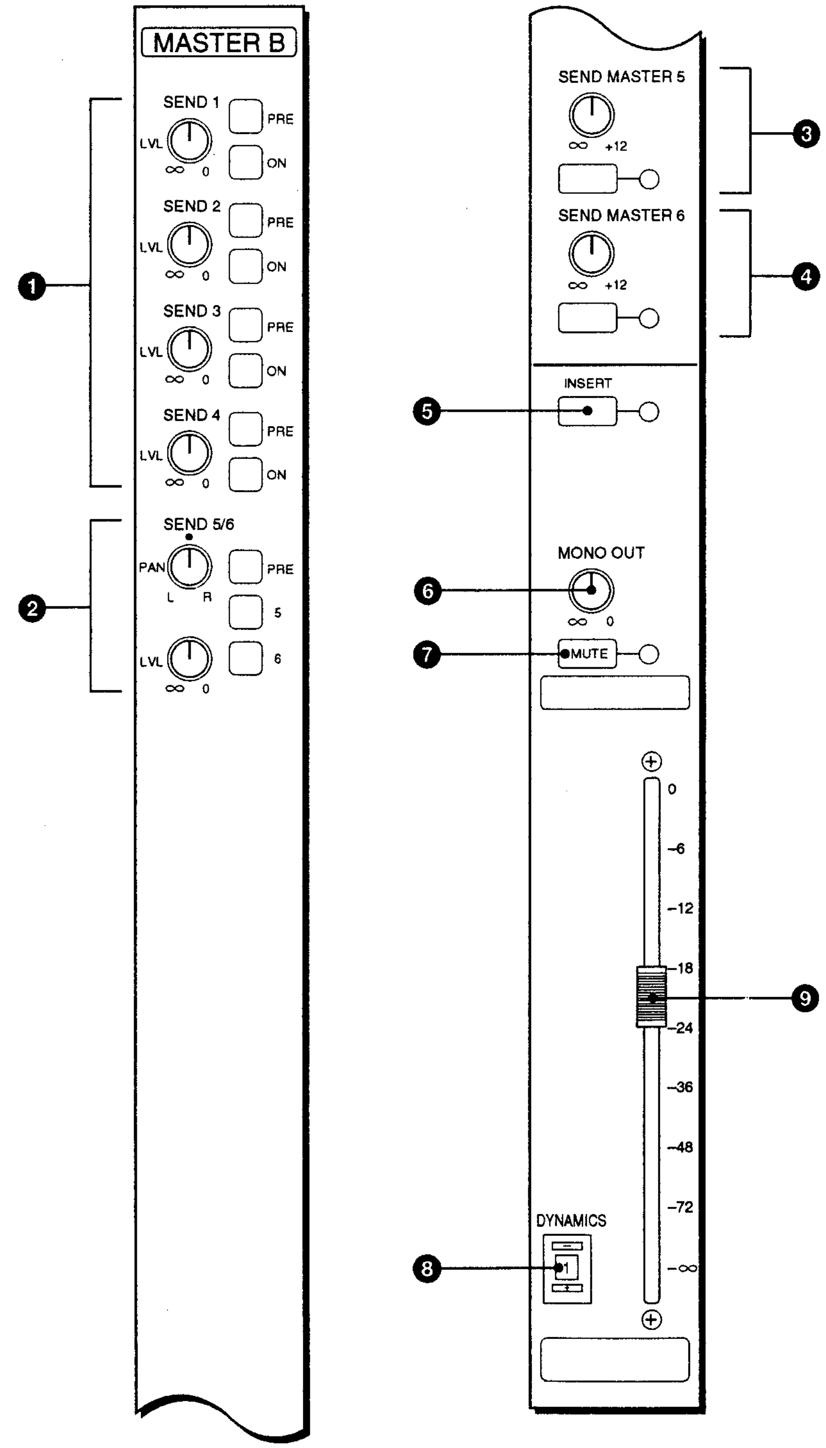


図2-8 MASTER Bモジュール（MXBK-MM73/MM74）

MASTER Bモジュールは、2MIX B信号を処理します。

❶ SEND 1〜4 LVLつまみおよびPREスイッチ、ONスイッチ

モジュールの信号をモノラルセンドバス1〜4系統にアサインします。

PREスイッチ：スイッチが押し込まれていると、プリフェーダー信号がセンド信号になります。通常の位置では、ポストフェーダー信号がセンド信号になります。

LVLつまみ：選択した信号のレベルを調整します。調整範囲は∞(最大減衰値)〜0dB(ユニティゲイン値)です。

ONスイッチ:このスイッチを押すと、選択した信号がスイッチに対応するモノラルセンドバスに送出されます。

❷ SEND 5/6 LVLおよびPANつまみ、PRE、5、6スイッチ

モジュールの信号をステレオセンドバス5あるいは6にアサインします。

PREスイッチ：スイッチが押し込まれていると、プリフェーダー信号がセンド信号になります。通常の位置では、ポストフェーダー信号がセンド信号になります。

LVLつまみ：選択した信号のレベルを調整します。調整範囲は∞〜0dBです。

PANつまみ：選択した信号を、指定したバスの奇数番号ラインあるいは偶数番号ラインにパンポット調整します。L位置にすると、ユニティゲインレベルの信号が奇数番号バスに送出され、偶数番号バスは完全に減衰されます。R位置にすると、ユニティゲインレベルの信号が偶数番号バスに送出され、奇数番号バスは完全に減衰されます。中央位置では、−4.5dBの信号が奇数／偶数バスに送出されます。

5スイッチ：このスイッチを押すと、パンポット調整された信号がステレオバス5に送出されます。

6スイッチ：このスイッチを押すと、パンポット調整された信号がステレオバス6に送出されます。

❸ SEND MASETER 5　レベル調整つまみ、ONスイッチ

センド5のマスターセクションです。

レベル調整つまみ：各センド出力のマスターフェーダーです。本機のセンド出力のレベルを調整します。調整範囲は最大＋12 dB(最大ゲイン)です。

ONスイッチ：このスイッチを押すと、センド信号がモジュール後面のD SUBコネクターから出力されます。

❹ SEND MASETER 6　レベル調整つまみ、ONスイッチ

センド6のマスターセクションです。

レベル調整つまみ：各センド出力のマスターフェーダーです。本機のセンド出力のレベルを調整します。調整範囲は最大＋12 dB(最大ゲイン)です。

ONスイッチ：このスイッチを押すと、センド信号がモジュール後面のD SUBコネクターから出力されます。

❺ INSERTスイッチ

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、インサーション機能が働きます。インサーションポイントは、内部ジャンパーでイコライザーの前段あるいは後段に設定できます（工場出荷時は前段に設定されています）。

❻ MONO OUTつまみ

2MIX BのL＋R信号の出力を調整します。出力は後面のD SUBコネクターから送出されます。調整範囲は−∞〜0dBです。

❼ MUTEスイッチ／インジケーター

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、すべての2MIX B信号がミュートされます。

❽ DYNAMICSロータリースイッチ

このスイッチで、8個のダイナミクスモジュールの中から任意の番号を選択します。信号の圧縮、伸長、ゲート処理が不要な場合は、スイッチを「L」(ローカル)に設定します。

❾ フェーダー

2MIX Bのマスターフエーダーです。基準位置は、最上位置で、ゲインはありません。

2-1-6 MONITORジュール（MXBK-MN71/MN72）

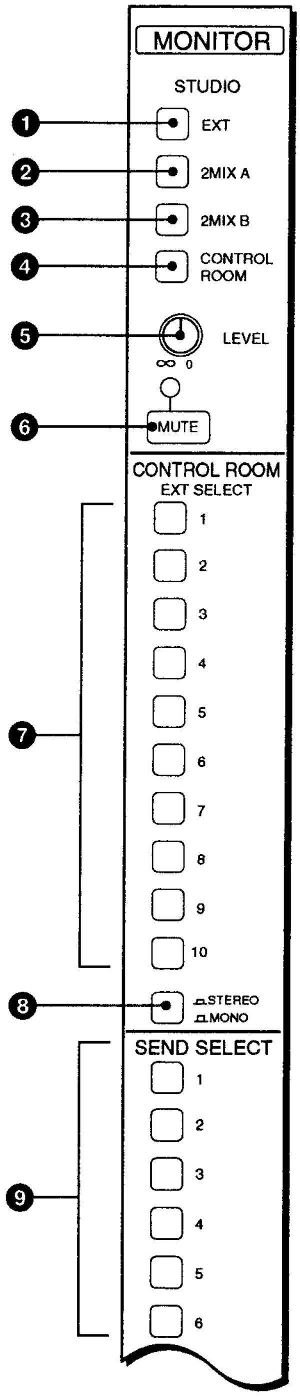


図2-9 MONITORモジュール（MXBK-MN71/MN72） （2-23ページへ続く）

このモジュールは、スタジオ、コントロールルームの各スピーカー、およびヘッドホンでモニターするためのモニター用モジュールです。このモジュールは、1台のフレームに最大2本まで挿入することができます。2本目のモジュールには、メーター出力、PFL、ソロなどに関する機能はありません。

◆挿入スロットについては、「1-4　モジュールとその挿入スロット」（1-4ページ）をご覧ください。

STUDIO部

❶ EXTスイッチ

このスイッチを押すと、❼EXTERNAL SELECTスイッチで選択した信号をスタジオモニター出力に送出されます。

❷ 2MIX Aスイッチ

このスイッチを押すと、MASTER AモジュールのL／R出力（2MIX A）をスタジオモニターできます。

❸ 2MIX B

このスイッチを押すと、MASTER BモジュールのL／R出力（2MIX B）がスタジオモニターできます。

❹ CRスイッチ

このスイッチを押すと、コントロールルームモニター用に選択した信号が、スタジオモニター出力にも送出されます。

❺ LEVELつまみ

スタジオモニターのレベルを調整します。

❻ MUTEスイッチ

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、スタジオのラウドスピーカーがミュートされます。後面のD SUBコネクターを通して、外部機器からミュートを制御することもできます。

CONTROL ROOM部

❼ EXTERNAL SELECT1～10スイッチ

外部モニター入力の選択スイッチです。モノラル入力で10系統、ステレオ入力で5系統の入力をモニターできます。モノラルとステレオの切り替えは、❽STEREO／MONOスイッチで行います。また、この系統をモニターする場合は、MAIN SELECT部の⓬EXTスイッチを押します。

❽ STEREO／MONOスイッチ

このスイッチを押すと、❼EXTERNAL SELECTスイッチの入力ラインがステレオになります。スイッチを解除すると、モノラルになります。ステレオのL／Rの配置は、以下の表のようになります。

押すスイッチ	ステレオペア	出力先
1／2	1／2	1はLへ 2はRへ
3／4	3／4	3はLへ 4はRへ
5／6	5／6	5はLへ 6はRへ
7／8	7／8	7はLへ 8はRへ
9／10	9／10	9はLへ 10はRへ

❾ SEND SELECT1～6スイッチ

センド出力の選択スイッチです。スイッチ1～4は、モノラルで、スイッチ5と6は、ステレオでモニターできます。この系統をモニターする場合は、MAIN SELECT部の⓭SENDスイッチを押します。また、メーターパネル上のセンド用バーグラフメーターは、このスイッチで選択された出力のレベルを示します。

❿ GROUP SELECT1～8スイッチ

グループ出力の選択スイッチです。モノラル8系統、ステレオ4系統のモニターができます。モノラルとステレオの切り替えは、⓫STEREO／MONOスイッチで行います。また、この系統をモニターする場合は、MAIN SELECT部の⓮GROUPスイッチを押します。

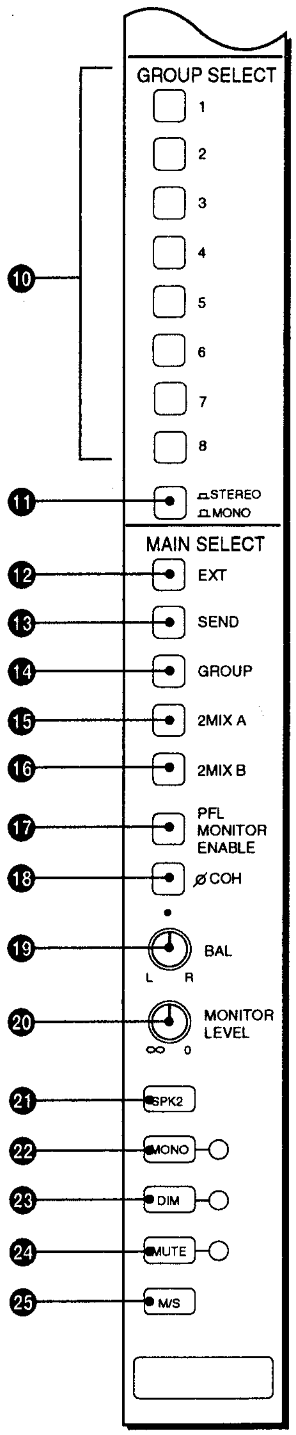


図2-10 MONITORモジュール（MXBK-MN71/MN72）（2-21ページから続く）

⓫ STEREO／MONOスイッチ

このスイッチを押し込むと、⓾GROUP SELECTスイッチの入力ラインがステレオに設定されます。通常は、モノラルに設定されています。ステレオのL／Rの配置は、以下の表のようになります。

押すスイッチ	ステレオペア	出力先
1／2	1／2	1はLへ 2はRへ
3／4	3／4	3はLへ 4はRへ
5／6	5／6	5はLへ 6はRへ
7／8	7／8	7はLへ 8はRへ

MAIN SELECT部

⓬ EXTスイッチ

このスイッチを押すと、❼EXTERNAL SELECTスイッチで選択した信号がコントロールルームモニター出力に送出されます。

⓭ SENDスイッチ

このスイッチを押すと、❾SEND SELECTスイッチで選択した信号がコントロールルームモニター出力に送出されます。

⓮ GROUPスイッチ

このスイッチを押すと、❾GROUP SELECTスイッチで選択した信号がコントロールルームモニター出力に送出されます。

⓯ 2MIX Aスイッチ

このスイッチを押すと、MASTER Aモジュールの出力がコントロールルームでモニターできます。

⓰ 2MIX B

このスイッチを押すと、MASTER Bモジュールの出力がコントロールルームでモニターできます。

⓱ PFL MONITOR ENABLEスイッチ

このスイッチを押すと、PFL信号をコントロールルームで聞くことができます。各モジュールのPFLスイッチを押すと、モニターにPFL信号が割り込みます。

⓲ φCOH（位相一致）スイッチ

L/Rの位相チェック用のスイッチです。
このスイッチを押すと、L側の信号がR側へ逆相で加算され、R側の信号のレベルが低下し、L/R間が同相であることが確認できます。レベル低下が無い場合は、L/R間が逆相になっている可能性があります。

⓳ BALつまみ

モニター出力のL／Rのバランスを調整します。

⓴ MONITOR LEVELつまみ

コントロールルームのスピーカーの音量を調整します。

㉑ SPK 2スイッチ

このスイッチを押すと、コントロールルームのモニター信号の送出先を第1スピーカーから第2スピーカーへ変更することができます。

㉒ MONOスイッチ

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、モニター出力をL＋R処理します。

㉓ DIMスイッチ

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、モニターレベルを低下させます。低下するレベルは、モニターモジュール内のトリマーで設定します。

㉔ MUTEスイッチ

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、モニター出力がミュートします。

㉕ M/Sスイッチ

コンソール内の信号がMSモードのときに使用します。
このスイッチを押すと、MS信号がL/R信号に変換されて、モニターできます。

2-1-7 COMM（コミュニケーション）モジュール（MXBK-CM71）

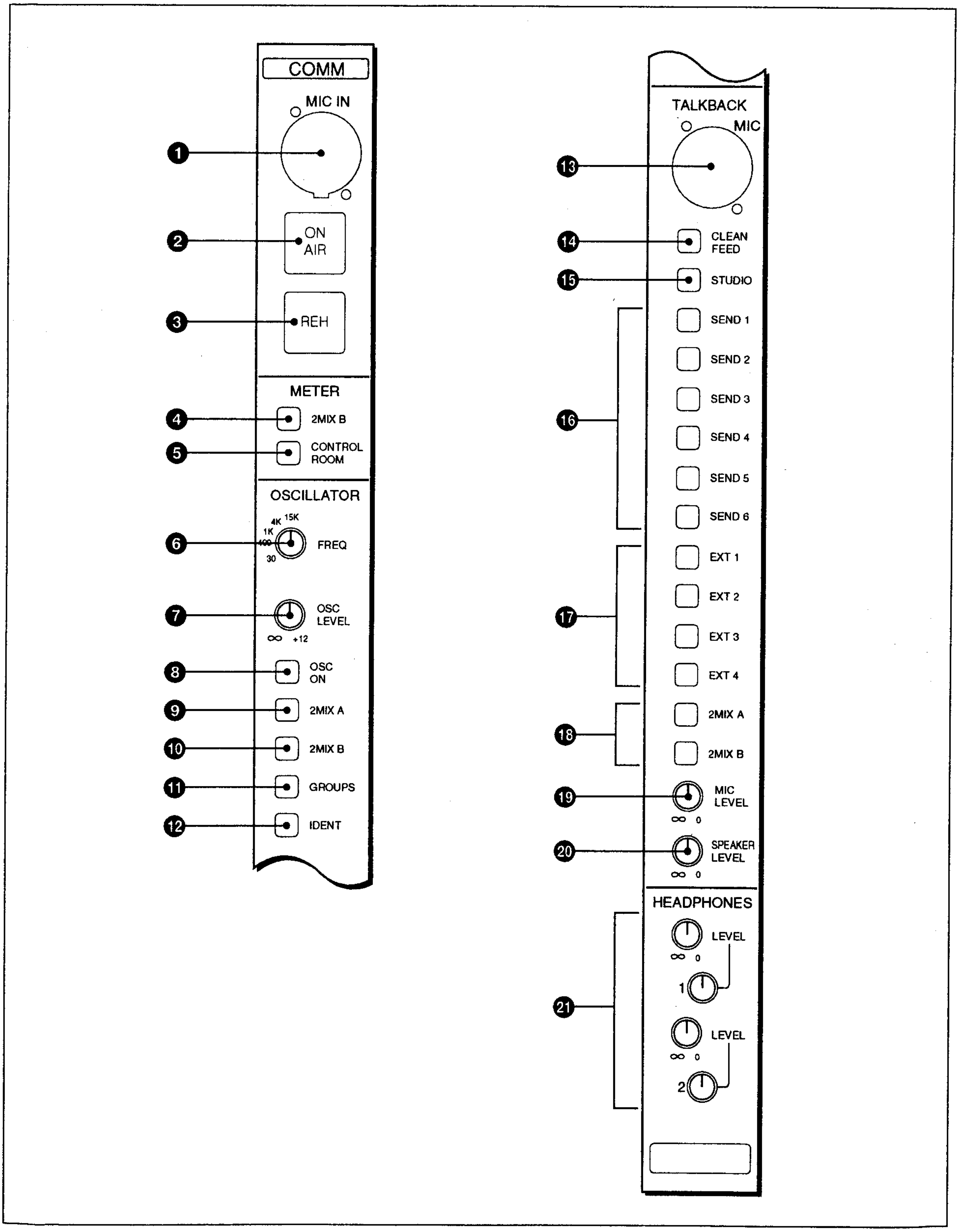


図2－11　COMMモジュール（MXBK-CM71）

COMMモジュールは、各コンソールに1本ずつ必要なモジュールです。（◆詳しくは、「1-4　モジュールとその挿入スロット」をご覧ください。）このモジュールは、主としてトークバック信号の制御およびテスト信号の発振を行います。

MICコネクター／ON AIRスイッチ／REHスイッチ部

❶ MIC INコネクター（XLR-3-31）
グーズネックタイプなど、トークバック用の外部マイクを接続します。内蔵マイクとの切り替えは、内部のジャンパーで行います。（◆詳しくは、「3-4-6　COMM（コミュニケーション）モジュールのジャンパー／スイッチ」をご覧ください。）

❷ ON AIRスイッチ
このスイッチを押すと、スイッチの内蔵ランプが点灯し、オンエアの合図の信号が送出されます。このスイッチが点灯している状態では、オシレーターは働きません。また、トークバック回路は、クリーンフィードトークバックと外部トークバックを除き、すべて働きません。また、REHスイッチが押されていても、ON AIRスイッチが優先します。

❸ REHスイッチ
このスイッチを押すと、スイッチの内蔵ランプが点灯し、リハーサルの合図の信号が送出されます。

METER部

ご注意

2MIX BスイッチとCONTROL ROOMスイッチは、一方を押すと、他方は解除されます。

❹ 2MIX Bスイッチ
このスイッチを押すと、MASTER Bモジュールの出力（2MIX B）がメーターに表示されます。また、メーターユニット上で2 MIX Bインジケーターが点灯します。

❺ CONTROL ROOMスイッチ
このスイッチを押すと、MONITORモジュールのコントロールルームモニターに選択されている信号がメーターに表示されます。また、メーターユニット上CONTROL ROOM MONITORのインジケーターが点灯します。

OSCILLATOR部

❻ FREQつまみ
次の周波数に切り換えます：30Hzまたは400Hz、1kHz、4kHz、15kHz

❼ OSC LEVELつまみ
オシレーター信号の出力レベルを調整します。

❽ OSC ONスイッチ
このスイッチを押すと、オシレーターが働きます。

❾ 2MIX Aスイッチ
このスイッチを押すと、オシレーター信号が2MIX Aバスに割り込みます。

❿ 2MIX Bスイッチ
このスイッチを押すと、オシレーター信号が2MIX Bバスに割り込みます。

⓫ GROUPSスイッチ
このスイッチを押すと、オシレーター信号がGROUPバスに割り込みます。

⓬ IDENTスイッチ
テスト用のスイッチです。このスイッチを押すと、2MIX Aおよび2MIX B、CLEAN FEED 5、および6のLチャンネルに400Hzトーンが割り込み、それぞれのRチャンネルに1000Hzトーンが割り込みます。

TALKBACK部

⓭ MIC
内蔵マイクです。工場出荷時は、このマイクが働きます。内蔵ジャンパーの切り換えで、外部マイクを使うこともできます。

⓮ CLEAN FEEDスイッチ

このスイッチを押すと、トークバックの音声がクリーンフィードバスに送出されます。

⓯ STUDIOスイッチ

このスイッチを押すと、トークバック音声をスタジオスピーカーで聞くことができます。また、外付けのアラート機器を後面のD SUBコネクターに接続している場合は、このスイッチでそれらの機器を起動させることができます。

⓰ SEND 1、2、3、4およびSEND5-6、SEND7-8スイッチ

スイッチを押すと、トークバック音声がそれぞれのSENDバスに送出されます。また、外付けのアラート機器を後面のD SUBコネクターに接続している場合は、このスイッチでそれらの機器を起動させることができます。

⓱ EXT 1、2、3、4スイッチ

スイッチを押すと、トークバック音声がEXT1、2、3、4に出力されます。また、外付けのアラート機器を後面のD SUBコネクターに接続している場合は、このスイッチでそれらの機器を起動させることができます。

このスイッチは、❷ON AIR スイッチおよび❸REHスイッチから独立しています。

⓲ 2MIX A、2MIX Bスイッチ

このスイッチを押すと、トークバック音声が対応するバスに送出されます。

⓳ MIC LEVELつまみ

トークバックの音量を調整します。

⓴ SPEAKER LEVELつまみ

メーターユニットのリターントークバックとPFLスピーカーの音量を調整します。

HEADPHONES部

㉑ ヘッドホン1、2コネクターとLEVEL 1、2つまみ

ヘッドホン1、2コネクターはMONITORモジュールで選択したコントロールルームの音声を出力します。LEVEL 1、2つまみはヘッドホンの音量を調整します。

2-1-8 DYNAMICSモジュール（MXBK-DY71）

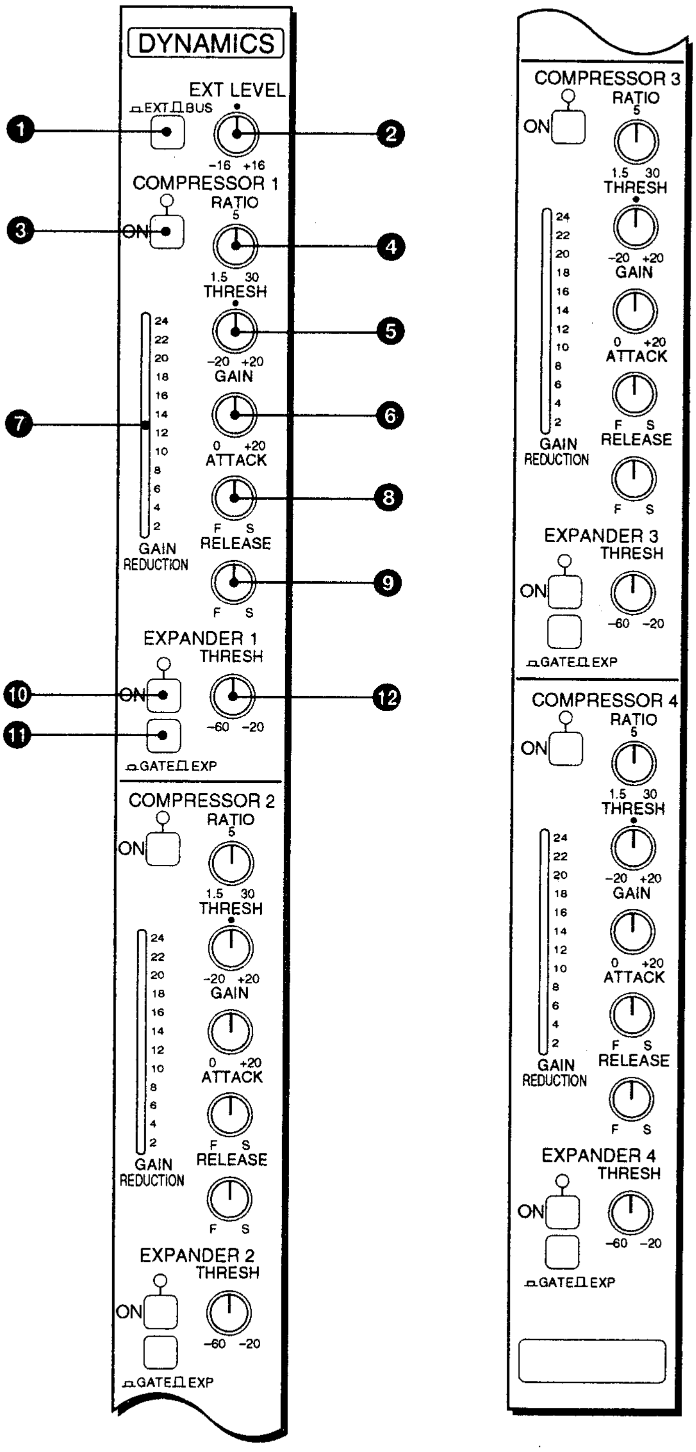


図2-12 DYNAMICSモジュール（MXBK-DY71）

1本のDYNAMICSモジュール上に、4系統のコンプレッサー／エキスパンダー／ノイズゲートを備え、各系統ごとに調整つまみおよびインジケーターを備えています。
MONOモジュールおよびSTEREOモジュール、GROUPモジュールの信号を処理します。
DYNAMICSモジュールは最大で2本使用することができます。

❶ EXT／BUSスイッチ
通常の位置では、ダイナミクス1のオーディオ信号がCOMPRESSOR 1／EXPANDER 1セクションで処理されます。スイッチが押し込まれている場合は、後面の入力端子を通じて入力した外部オーディオソースがCOMPRESSOR 1／EXPANDER 1セクションで処理されます。

❷ EXT LEVELつまみ
外部入力信号を±16dBの範囲で調整します。

コンプレッサー／エキスパンダー部

ご注意
COMPRESSOR／EXPANDER 1〜4は、同じ機能を備えています。次の説明のつまみおよびインジケーターの働きは、各セクションに共通です。

❸ ONスイッチ
このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、対応するコンプレッサーが機能します。

❹ RADIOつまみ
1.5：1〜30：1の範囲で、コンプレッサーのレシオを調整します。

❺ THRESHOLDつまみ
−20〜+20dBの範囲で、コンプレッサーのスレッショルドレベルを調整します。

❻ GAINつまみ
0〜+30dBの範囲で、コンプレッサーのゲインを調整します。

❼ GAIN REDUCTIONメーター
❸と❿のONスイッチが押し込まれて、コンプレッサー、エキスパンダー／ノイズゲートが機能している場合は、ゲインリダクションを2〜24dBの範囲で表示します。

❽ ATTACKつまみ
コンプレッサーとエキスパンダーのアタックタイムを、F(fast：0.4msec.)〜S(slow：15msec.)の範囲で調整します。

❾ RELEASEつまみ
コンプレッサーとエキスパンダーのリリースタイムを、F(fast：0.2sec.)〜S(slow：1.2sec.)の範囲で調整します。

❿ ONスイッチ
このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、対応するエキスパンダー／ノイズゲートが機能します。

⓫ GATE／EXPスイッチ
このスイッチが押し込まれている場合は、ノイズゲートが機能します。通常の位置では、エキスパンダーが機能します。

⓬THRESHOLDつまみ
−60〜−20dBの範囲で、エキスパンダーのスレッショルドレベルを調整します。

2-1-9 CLEAN FEEDモジュール（MXBK-CF71/CF72）

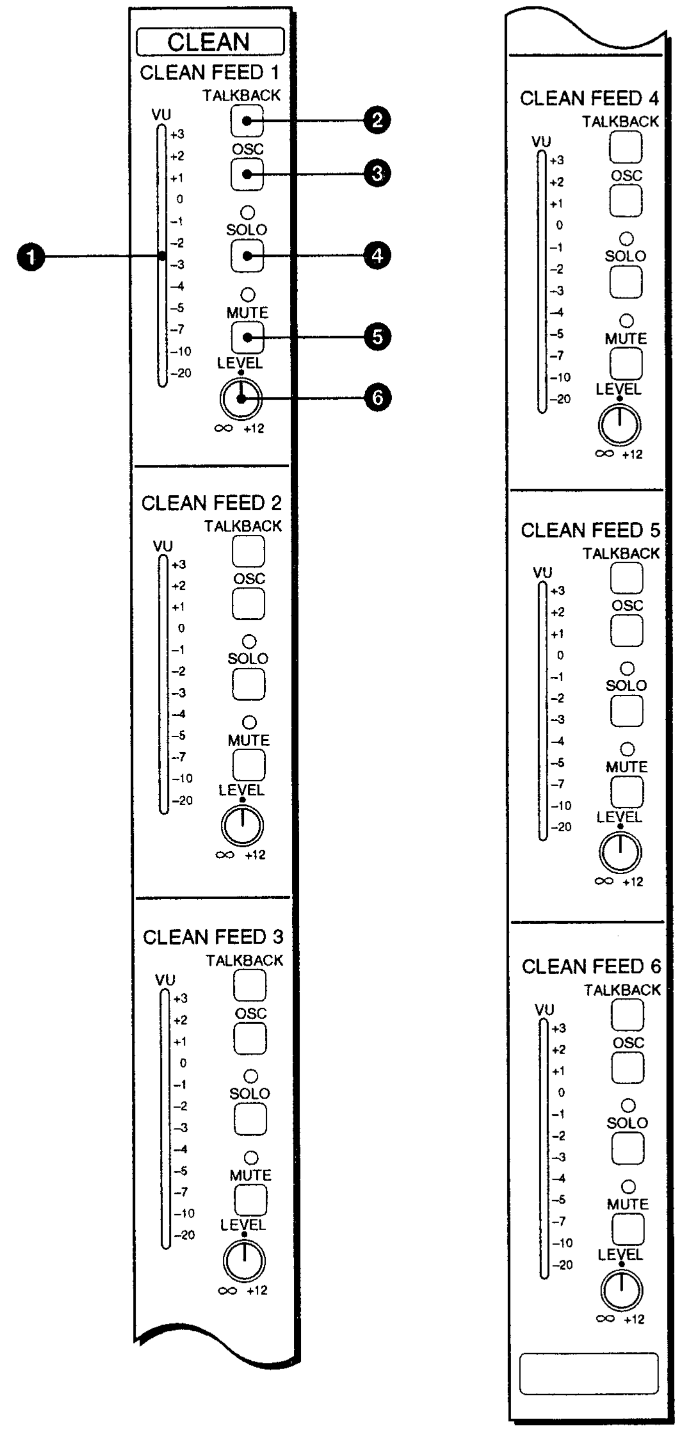


図2-13 CLEAN FEEDモジュール（MXBK-CF71/CF72）

CLEAN FEEDモジュールは、6系統（モノラル4系統とステレオ2系統）の出力を備えた多元送り返し機能（Nマイナスワン）のモジュールです。MONOおよびSTEREO、GROUPモジュールの出力信号を、このモジュールから送出することができます。

ご注意

CLEAN FEED 1～4は、モノラル出力です。CLEAN FEED 5およびCLEAN FEED6は、ステレオ出力です。次の説明のつまみとインジケーターの働きは、CLEAN FEED1～6の各セクションに共通です。

❶ VUメーター

12セグメントLEDのVUメーターです。CLEAN FEED 1～4は、モノラルのクリーンフィード出力を表示します。CLEAN FEED 5および6は、L+Rのクリーンフィード出力を表示します。
0VUレベルは、+4dBuレベルを示します。
−20～−1：緑色が点灯します。
0～+3：赤色が点灯します。

❷ TALK BACKスイッチ

このスイッチを押すと、❺MUTEスイッチの設定に関係なく、トークバック信号が出力します。

❸ OSCスイッチ

このスイッチを押すと、オシレーター信号が出力されます。

❹ SOLOスイッチ

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、そのCLEAN FEEDチャンネルの出力はソロバスに送出されます。

❺ MUTEスイッチ

このスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、そのCLEAN FEEDチャンネルの出力はミュートされます。

❻ LEVELつまみ

そのCLEAN FEEDチャンネルの出力レベルを調整します。−96dB～+12dBの範囲で調整できます。

2-1-10 MACHINE（マシンコントロール）モジュール（MXBK-MC71）

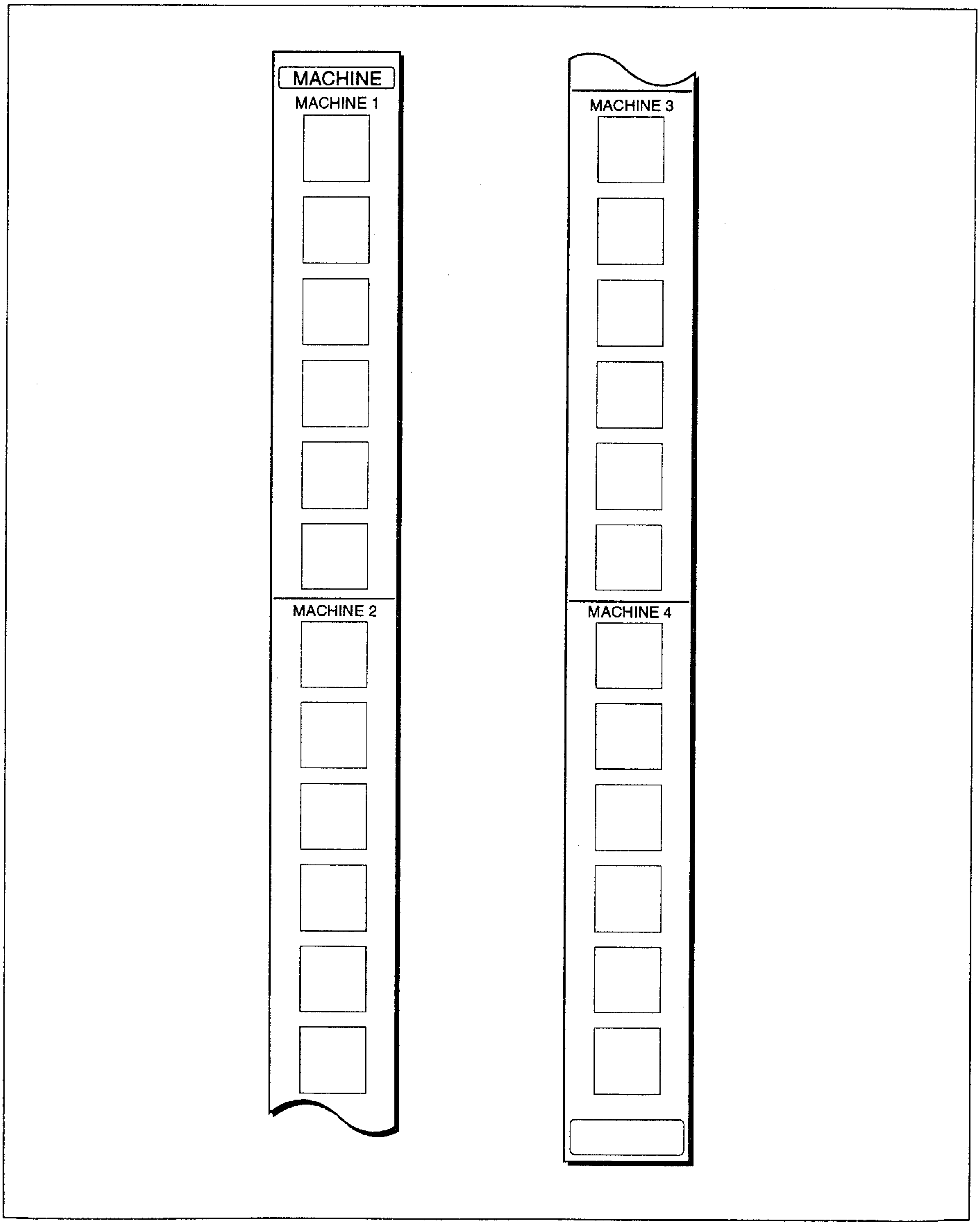


図2-14 MACHINEモジュール（MXBK-MC71）

このモジュール上で、アナログテープレコーダー、DATレコーダー、CDプレーヤー、MD（ミニディスク）レコーダー／プレーヤーなどのテープおよびディスク走行系を制御することができます。同時に4台までの外部機器を制御することができます。

MACHINEモジュールは、MACHINE1～4の4セクションで構成されています。各セクションの6個のモーメンタリープッシュボタンは、タリーランプを内蔵してます。
◆接続方法について詳しくは、「3-4-8　MACHINEモジュールのジャンパー／スイッチ」をご覧ください。

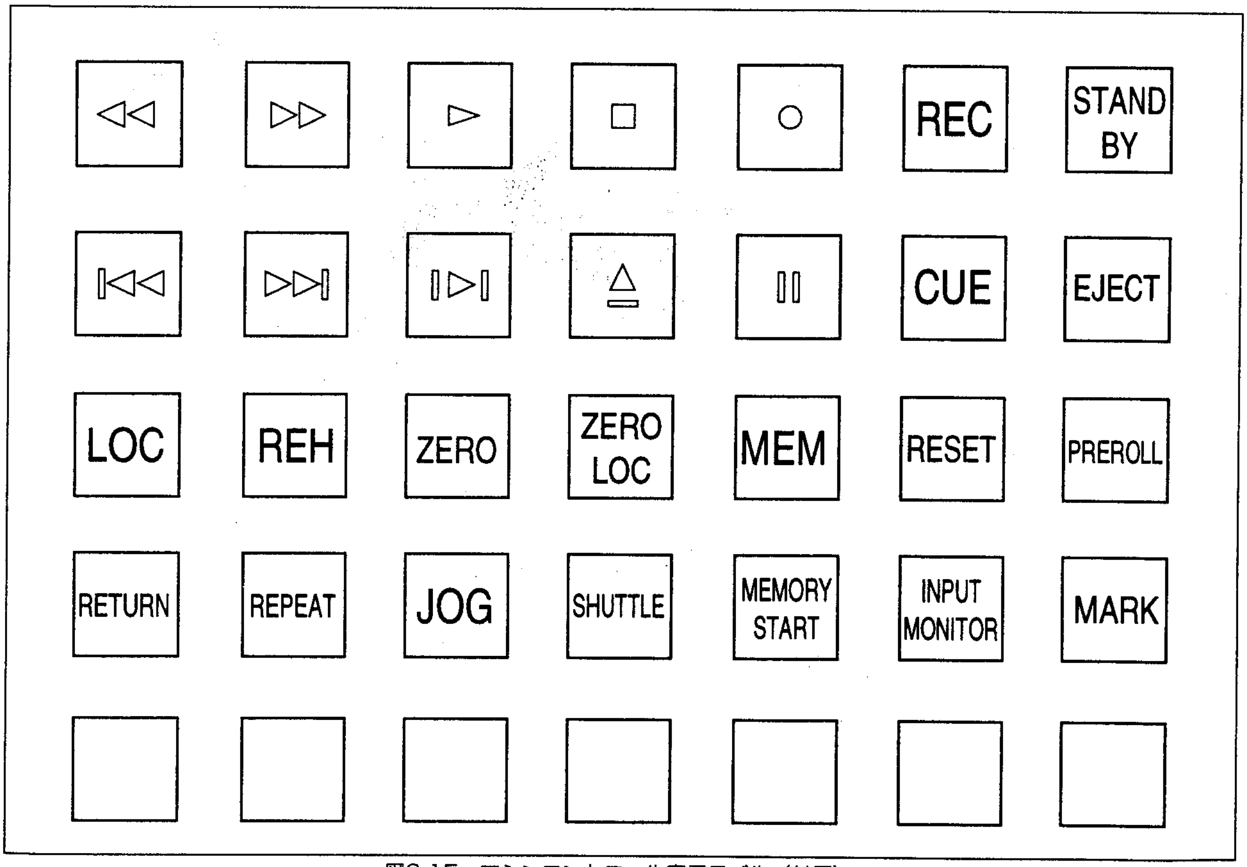


図2-15　マシンコントロール表示ラベル（付属）

2-1-11　メーターユニット（MXBK-MU71/MU72/MU73/MU74）

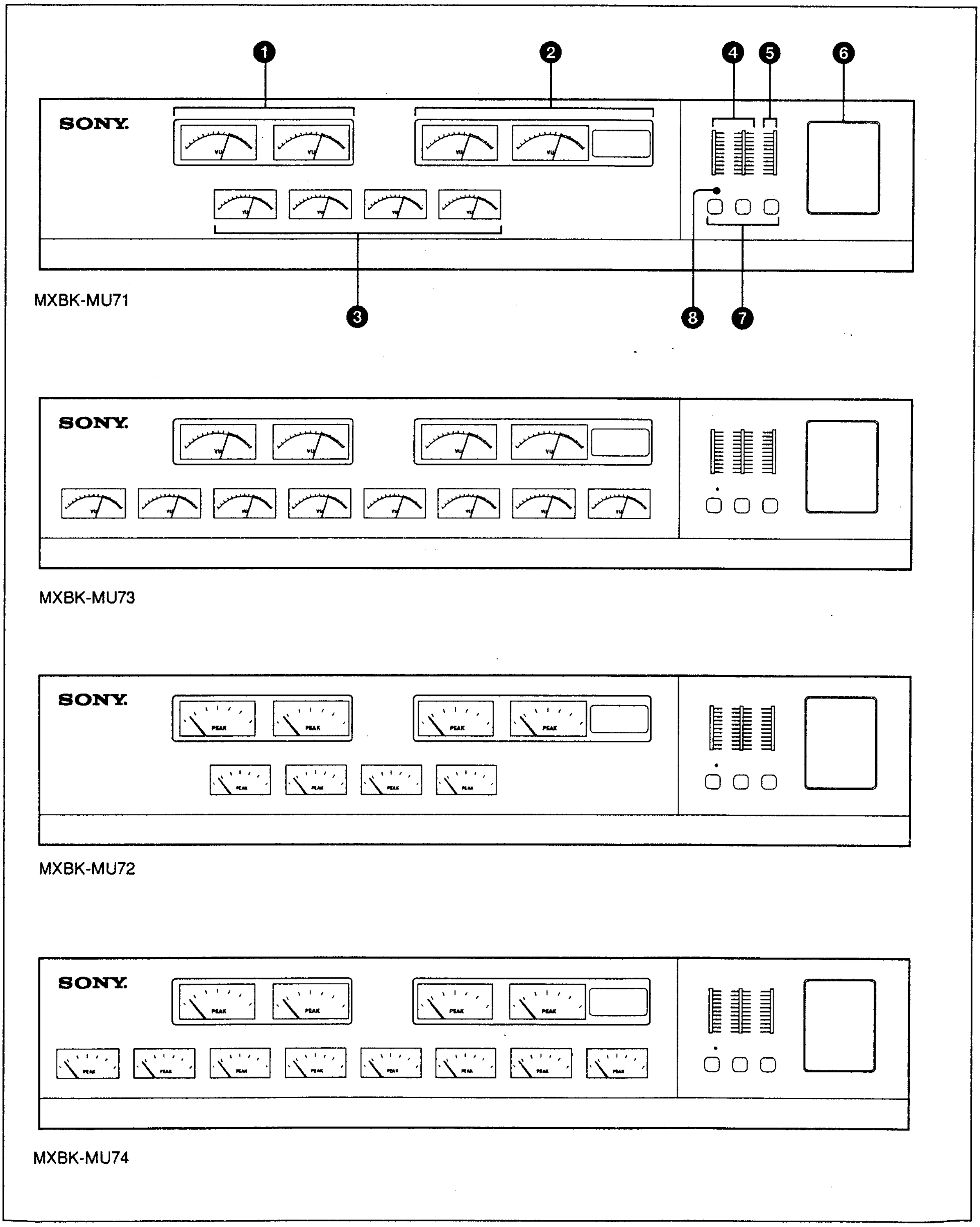


図2-16　メーターユニット（MXBK-MU71/MU72/MU73/MU74）

メーターユニットでは、各出力の信号レベル、電源部のアラームのほか、オンエア、リハーサル、キューなどの状態が表示されます。メーターユニットは、VUメーターあるいはピークメーターの2種類があり、それぞれのタイプに、図2-16のようにグループメーターを4個あるいは8個装備しています。

❶ 2MIX Aメーター

常にMASTER AモジュールのMIX A信号の出力レベルを表示します。

❷ 2MIX-B／CONTROL ROOM MONITOR／SOLOメーターおよびインジケーター

点灯しているインジケーターに対応して、次のように信号を表示します。

2MIX-Bインジケーター：COMMモジュールの2MIX Bスイッチを押すと、このインジケーターが点灯し、MASTER BモジュールのMIX B信号の出力レベルを表示します。

CONTROL ROOM MONITORインジケーター：COMMモジュールのCONTROL ROOMスイッチが押すと、このインジケーターが点灯し、MONITORモジュールのCR MONITOR信号の出力レベルを表示します。

SOLOインジケーター：MONO／STEREO／GROUPモジュールのいずれかでSOLOスイッチを押すと、このインジケーターが点灯し、ソロバスの信号レベルを表示します。SOLO信号モニターは、2MIX B、CONTROL ROOM信号モニターより優先して表示されます。

❸ GROUPメーター 1～4または1～8

対応するGROUPモジュールのDIRECT GROUP出力を常に表示します。

❹ SENDメーター

MONITORモジュールのSEND SELECT部で選択した信号のレベルを表示します。

❺ PFLメーター

PFLバスの信号レベルを表示します。

❻ スピーカー

PFLあるいはトークバック用のスピーカーです。PFL信号はトークバック信号より優先します。音量は、COMMモジュールのSPEAKER LEVELつまみで調整することができます。

❼ サインインジケーター

ON AIRインジケーター：COMMモジュールのON AIRスイッチ／インジケーターを押したとき、あるいは、COMMモジュール後面のD SUBコネクターのEXT SW OAラインを外部から起動したときに点灯します。

REHEARSALインジケーター：COMMモジュールのREHスイッチ／インジケーターを押したとき、あるいはCOMMモジュール後面のDSUBコネクターのEXT SW REHラインを外部から起動したときに点灯します。

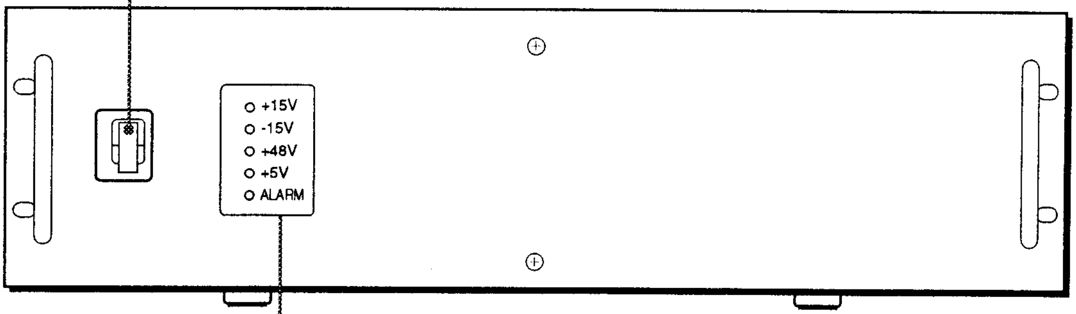
CUEインジケーター：キュー表示用のインジケーターで、本機では使用されていません。

❽ POWER SUPPLY ALARMインジケーター

供給電源に異常がある場合は、赤色に点灯します。電源投入時は、電圧が安定するまで、約3秒間、点灯します。

2-1-12 電源ユニット（AC-P700）

電源スイッチ



インジケーター
正常な電圧を出力している場合は、緑色のランプが点灯します。電源ユニットに異常が発生した場合は、赤色のランプが点灯します。
ミキサー本体に危険を及ぼすような高い電圧を出力した場合は、リレーが働き、直ちに出力をカットします。

図2-17 電源ユニット（AC-P700）

第3章　準備

この章では、本機の設置する際の環境条件、電源の接続、ケーブル準備のためのコネクターのピン配置、多様な操作モードに対応するためのジャンパー／スイッチの設定について記載しています。

3-1 設置条件 **3-2**
- 3-1-1 設置スペース 3-2
- 3-1-2 設置環境 3-3
- 3-1-3 電源 3-3

3-2 電源の接続 **3-4**

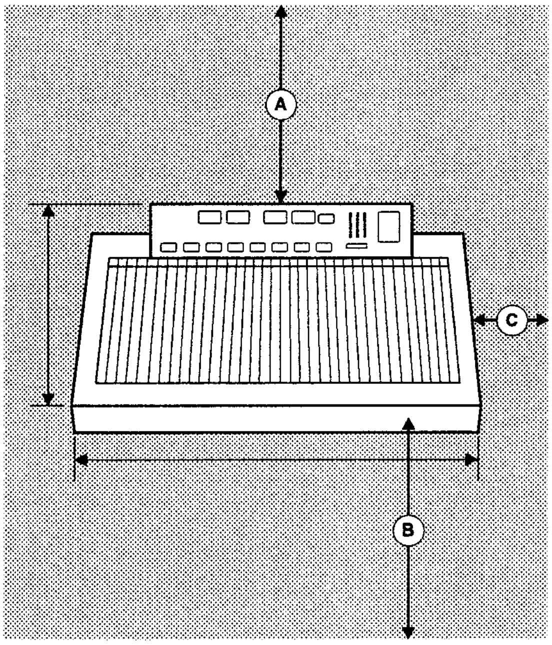
3-3 コネクターのピン配置 **3-5**

3-4 ジャンパー／スイッチの設定 **3-13**
- 3-4-1 MONO（モノラル）モジュールのジャンパー／スイッチ 3-13
- 3-4-2 STEREOモジュールのジャンパー／スイッチ 3-14
- 3-4-3 GROUPモジュールのジャンパー／スイッチ 3-15
- 3-4-4 MASTER A、Bモジュールのジャンパー／スイッチ 3-16
- 3-4-5 MONITORモジュールのジャンパー／スイッチ 3-18
- 3-4-6 COMM（コミュニケーション）モジュールのジャンパー／スイッチ 3-19
- 3-4-7 DYNAMICSモジュールのジャンパー／スイッチ 3-19
- 3-4-8 MACHINEモジュールのジャンパー／スイッチ 3-20

3-1 設置条件

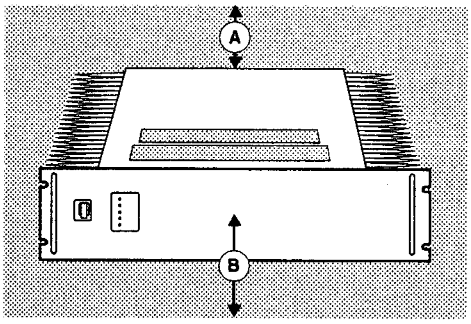
以下のスペースおよび環境、電源についての基本条件に従って、本機を正しく設置してください。

3-1-1 設置スペース



A	サービスエリアおよびコネクター	760mm（最小値）
B	オペレーターの作業スペース	760mm（最小値）
C	通り抜けできるスペース（両側）	任意

図3-1　コンソールのスペース



A	ケーブルおよびコネクター	203.2mm
B	ラックの取り外し	355.6mm
—	コンソールへの電源供給	10m
—	ACソケットへの電源接続	1.8m
—	ラックマウントの高さ	3U

ご注意

- 電源供給ユニットのラックは必ず難燃性の床に設置してください。
- 電源ユニットの上下は、最低1Uの空間を空けてください。

図3-2　電源ユニットの必要スペース

3-1-2 設置環境

本機は以下の環境に設置してください。

- 周囲温度：35°C以下
- 湿度：80%以下
- 機器内部での温度上昇を避けるために、空気の流れを妨げないこと

部屋の温度は、その部屋にあるすべての機器から放出される熱の総量に影響を受けます。空調システムは、部屋の温度を上記の条件内に保つことが要件です。次の表は、動作時のコンソールと電源ユニットの熱放出量です。

型名	BTU
MXP-716／AC-P700	1194
MXP-728／AC-P700	1706
MXP-744／AC-P700 (2)	2730

3-1-3 電源

AC-P700シリーズの電源電圧、消費電力は以下の通りです。

型名	電源電圧	消費電力 （最大数のモジュールを装備時）
MXP-716	90-110V AC、50／60Hz	350W
MXP-728		500W
MXP-744		800W

音響機器や映像機器の電気的ノイズは、通常、不適切なAC電源や接地に起因します。また、すべての電子機器は、ある種の電磁気あるいは静電気ノイズを発生します。そのため、コンソールおよびすべての周辺機器は、これらのノイズ源から切り離されている必要があります。また、使用するACコンセントはすべて、正しく接地されている必要があります。

3-2　電源の接続

図3-3および図3-4は、本機と主電源およびバックアップ用電源の接続例です。

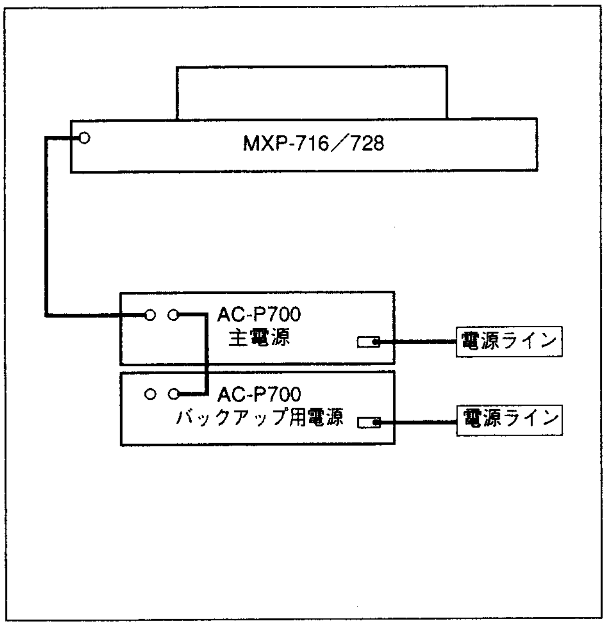


図3-3　MXP-716／728の電源接続

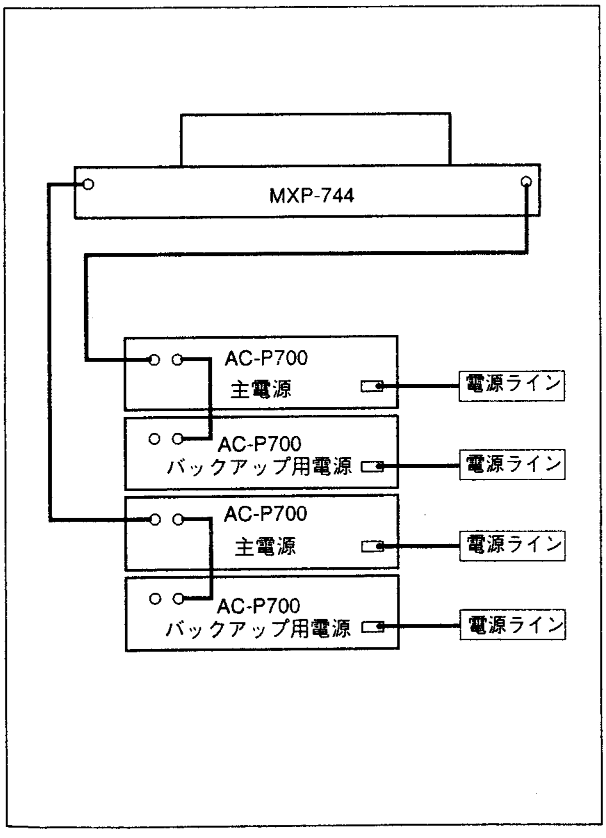


図3-4　MXP-744の電源接続

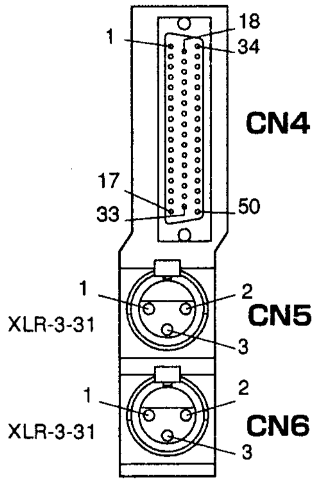
3-3 コネクターのピン配置

ケーブルによる外部機器への接続は、コンソールの後面で行います。コンソール上のコネクターおよびピン配置について以下に記載します。

正しいケーブルを作成するために、接続する機器のメーカーのデータをご覧ください。

MONOモジュール コネクターのピン配置

DSUB コネクター（50ピン、メス）

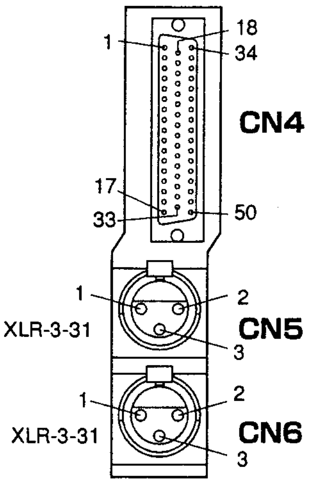


ピン番号	信号	ピン番号	信号	ピン番号	信号
CN4					
1	EXT VCA INPUT	―――		34	EXT VCA GND
2	FADER STRT IN	18	FADER STRT OUT	35	FADER STRT GND
3	DIRCT OUT LO	19	DIRCT OUT HI	36	SHIELD
―――		21	+5V REF	38	AGND
6	INSERT IN LO	22	INSERT IN HI	39	SHIELD
7	INSERT OUT LO	23	INSERT OUT HI	40	SHIELD
9	TALLY A COLL	25	TALLY A COMM	―――	
10	TALLY B COLL	26	TALLY B COMM		
11	IDENT I/O	27	IDENT COMMON		
12	MIX ASSIGN CMD	―――		45	+5V DG
13	EXT PFL CMD	29	DIR OUT/MIX SEL	46	DGND
15	LINE IN B LO	31	LINE IN B HI	48	SHIELD
16	SHIELD	32	SHIELD	49	SHIELD
17	MIC IN B LO	33	MIC IN B HI	50	SHIELD
未使用：4、5、8、14、20、24、28、30、37、41、42、43、44、47					
CN5					
3	LINE A IN LT LO	2	LINE A IN LT HI	1	SHIELD
CN6					
3	LINE A IN RT LO	2	LINE A IN RT HI	1	SHIELD

図3-5　MONOモジュール後面のコネクターのピン配置

STEREOモジュール コネクターのピン配置

DSUBコネクター（50ピン、メス）

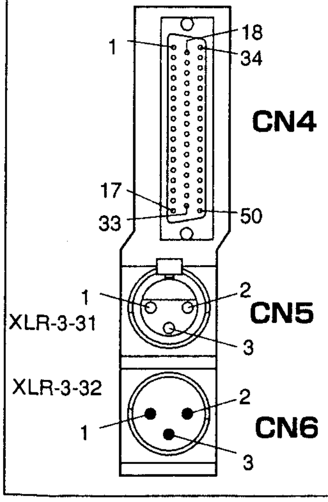


ピン番号	信号	ピン番号	信号	ピン番号	信号
CN4					
1	EXT VCA INPUT	———		34	EXT VCA GND
2	FADER STRTIN	18	FADERSTRT OUT	35	FADER STRTGND
3	DIRCT OUT LO L	19	DIRCT OUT HI L	36	SHIELD
4	DIRCT OUT LO R	20	DIRCT OUT HI R	37	SHIELD
———		21	+5V REF	38	AGND
6	INSERT IN LO L	22	INSERT IN HI L	39	SHIELD
7	INSERT OUT LO L	23	INSERT OUT HI L	40	SHIELD
9	INSERT IN LO R	25	INSERT IN HI R	42	SHIELD
10	INSERT OUT LO R	26	INSERT OUT HI R	43	SHIELD
11	IDENT MONO	27	IDENT COMMON	44	IDENT STEREO
15	LINE IN B LO L	31	LINE IN B HI L	48	SHIELD
17	LINE IN B LO R	33	LINE IN B HI R	50	SHIELD
未使用：5、8、12、13、14、16、24、28、29、30、32、41、45、46、47、49					
CN5					
3	LINE A IN LT LO	2	LINE A IN LT HI	1	SHIELD
CN6					
3	LINE A IN RT LO	2	LINE A IN RT HI	1	SHIELD

図3-6　STEREOモジュール後面のコネクターのピン配置

GROUPモジュール コネクターのピン配置

DSUBコネクター（50ピン、メス）

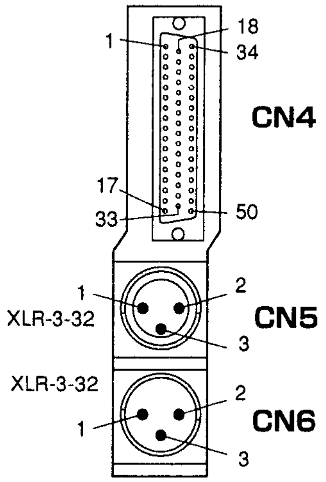


ピン番号	信号	ピン番号	信号	ピン番号	信号
CN4					
1	EXT VCA IN	———		34	EXT VCA GND
2	FADER STRT IN	18	FADER ST OUT	35	FADER ST GND
———		21	+5V REF	38	A GND
6	INSERT IN LO	22	INSERT IN HI	39	SHIELD
7	INSRT OUT LO	23	INSRT OUT HI	40	SHIELD
未使用：3、4、5、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、19、20、24、25、26、27、28、29、30、31、32、33、36、37、41、42、43、44、45、46、47、48、49、50					
CN5					
3	RETURN IN LO	2	RETURN IN HI	1	SHIELD
CN6					
3	DIRECT GROUP OUT LO	2	DIRECT GROUP OUT HI	1	SHIELD

図3-7　GROUPモジュール後面のコネクターのピン配置

MASTER Aモジュール コネクターのピン配置

DSUB コネクター（50ピン、メス）

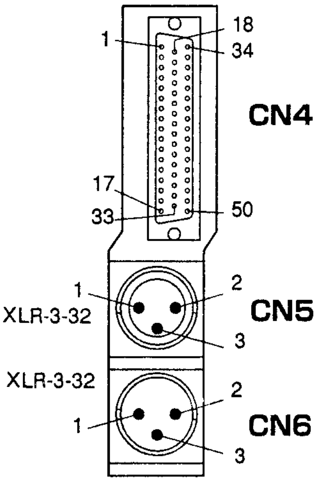


ピン番号	信号	ピン番号	信号	ピン番号	信号
CN4					
1	EXT VCA IN	――		34	EXT VCA GND
2	FADER STRT IN	18	FADER STRT OUT	35	FADER STRT GND
3	MONO OUT LO	19	MONO OUT HI	36	SHIELD
――		21	+5V REF	38	AGND
6	INSERT IN L LO	22	INSERT IN L HI	39	SHIELD
7	INSERT OUT L LO	23	INSERT OUT L HI	40	SHIELD
8	SHIELD	24	SHIELD	41	SHIELD
9	INSERT IN R LO	25	NSERT IN R HI	42	SHIELD
10	INSERT OUT R LO	26	INSERT OUT R HI	43	SHIELD
11	SHIELD	27	SHIELD	44	SHIELD
14	SEND 1 OUT LO	30	SEND 1 OUT HI	47	SHIELD
15	SEND 2 OUT LO	31	SEND 2 OUT HI	48	SHIELD
16	SEND 3 OUT LO	32	SEND 3 OUT HI	49	SHIELD
17	SEND 4 OUT LO	33	SEND 4 OUT HI	50	SHIELD
未使用：4、5、12、13、20、28、29、37、45、46					
CN5					
3	MIX A L LO	2	MIX A L HI	1	SHIELD
CN6					
3	MIX A R LO	2	MIX A R HI	1	SHIELD

図3-8 MASTER Aモジュール後面のコネクターのピン配置

MASTER Bモジュール コネクターのピン配置

DSUB コネクター（50ピン、メス）

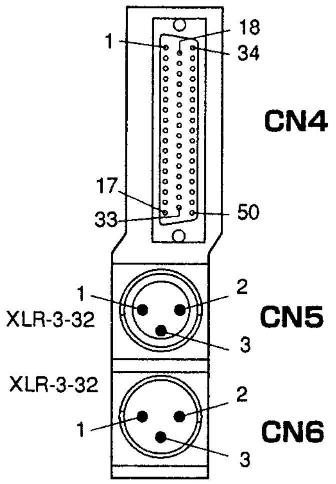


ピン番号	信号	ピン番号	信号	ピン番号	信号
CN4					
1	EXT VCA IN	――		34	EXT VCA GND
2	FADER STRT IN	18	FADER STRT OUT	35	FADER STRT GND
3	MONO OUT LO	19	MONO OUT HI	36	SHIELD
――		21	+5V REF	38	AGND
6	INSERT IN L LO	22	INSERT IN L HI	39	SHIELD
7	INSERT OUT L LO	23	INSERT OUT L HI	40	SHIELD
8	SHIELD	24	SHIELD	41	SHIELD
9	INSERT IN R LO	25	NSERT IN R HI	42	SHIELD
10	INSERT OUT R LO	26	INSERT OUT R HI	43	SHIELD
11	SHIELD	27	SHIELD	44	SHIELD
14	SEND 5 OUT LO	30	SEND 5 OUT HI	47	SHIELD
15	SEND 6 OUT LO	31	SEND 6 OUT HI	48	SHIELD
16	SEND 7 OUT LO	32	SEND 7 OUT HI	49	SHIELD
17	SEND 8 OUT LO	33	SEND 8 OUT HI	50	SHIELD
未使用：4、5、12、13、20、28、29、37、45、46					
CN5					
3	MIX B L LO	2	MIX B L HI	1	SHIELD
CN6					
3	MIX B R LO	2	MIX B R HI	1	SHIELD

図3-9 MASTER Bモジュール後面のコネクターのピン配置

MONITORモジュール コネクターのピン配置

D SUB コネクター（50ピン、メス）



ピン番号	信号	ピン番号	信号	ピン番号	信号
CN4					
1	PFL AUDIO OUT	—	—	34	AGND
2	ST HDPH OUT R	18	ST HDPH OUT L	35	SHIELD
3	ST MON OUT L LO	19	ST MON OUT L HI	36	SHIELD
4	ST MON OUT R LO	20	ST MON OUT R HI	37	SHIELD
5	SPK2 OUT L LO	21	SPK2 OUT L HI	38	SHIELD
6	SPK2 OUT R LO	22	SPK2 OUT R HI	39	SHIELD
7	DGND	23	EXT CR DIM/MUTE	40	EXT ST MUTE
8	EXT 1 IN LO	24	EXT 1 IN HI	41	SHIELD
9	EXT 2 IN LO	25	EXT 2 IN HI	42	SHIELD
10	EXT 3 IN LO	26	EXT 3 IN HI	43	SHIELD
11	EXT 4 IN LO	27	EXT 4 IN HI	44	SHIELD
12	EXT 5 IN LO	28	EXT 5 IN HI	45	SHIELD
13	EXT 6 IN LO	29	EXT 6 IN HI	46	SHIELD
14	EXT 7 IN LO	30	EXT 7 IN HI	47	SHIELD
15	EXT 8 IN LO	31	EXT 8 IN HI	48	SHIELD
16	EXT 9 IN LO	32	EXT 9 IN HI	49	SHIELD
17	未使用	33	未使用	50	未使用
CN5					
3	CR MON OUT L LO	2	CR MON OUT L HI	1	SHIELD
CN6					
3	CR MON OUT R LO	2	CR MON OUT R HI	1	SHIELD

図3-10　MONITORモジュール後面のコネクターのピン配置

COMMモジュール コネクターのピン配置	ピン番号	信号	ピン番号	信号	ピン番号	信号
	CN4					
DSUB コネクター（50ピン、メス）	1	EXT 4 C			34	SEND 3 C
	2	EXT TB 3 OUT LO	18	EXT TB 3 OUT HI	35	SHIELD
	3	EXT 4 N.O.	19	SEND 4 C	36	SEND 3 N.O.
	4	EXT TB 4 OUT LO	20	EXT TB 4 OUT HI	37	SHIELD
	5	EXT SW OA	21	LAMP OA	38	+5V
	6	LAMP REH	22	EXT SW OA	39	SEND 2 C
	7	EXT SW REH	23	EXT SW REH	40	SEND 2 N.O.
	8	EXT 3 C	24	REH LAMP C	41	REH LAMP N.O.
	9	OA LAMP N.C.	25	OA LAMP C	42	OA LAMP N.O.
	10	HP#2 L	26	AGND	43	HP #2 R
	11	EXT 3 N.O.	27	ST LAMP C	44	ST LAMP N.O.
	12	EXT 2 C	28	OSC	45	AGND
	13	EXT 2 N.O.	29	SEND 4 N.O.	46	SEND 1 C
	14	EXT 1 C	30	SEND 5-6 C	47	SEND 1 N.O.
	15	EXT 1 NO	31	SEND 5-6 N.O.	48	CLEAN FEED C
	16	SEND 7-8 C	32	SEND 7-8 N.O.	49	CLEAN FEED N.O.
	17	EXT TB IN LO	33	EXT TB IN HI	50	SHIELD
	CN5					
	3	EXT TB 1 OUT LO	2	EXT TB 1 OUT HI	1	SHIELD
	CN6					
	3	EXT TB 2 OUT LO	2	EXT TB 2 OUT HI	1	SHIELD

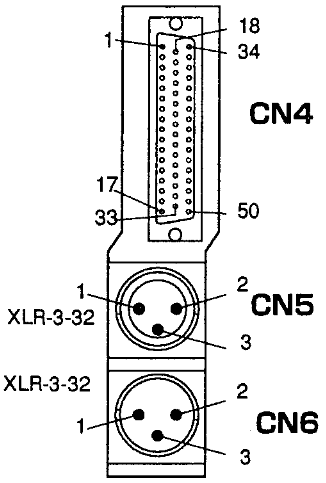


図3-11　COMM（コミュニケーション）モジュール後面のコネクターのピン配置

DYNAMICSモジュール コネクターのピン配置	ピン番号	信号	ピン番号	信号	ピン番号	信号
	CN501					
	3	DUCK IN LO	2	DUCK IN HI	1	SHIELD

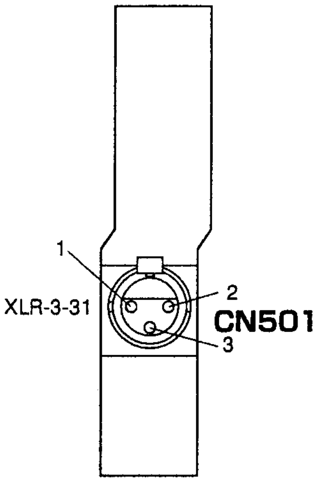
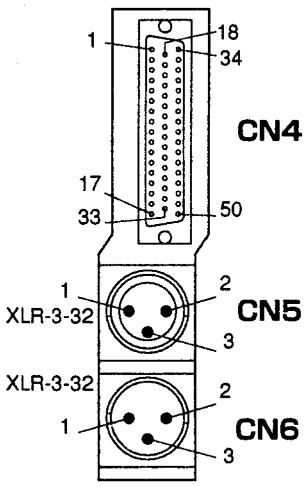


図3-12　DYNAMICSモジュール後面のコネクターのピン配置

CLEANモジュールコネクターのピン配置

D SUB コネクター
（50ピン、メス）

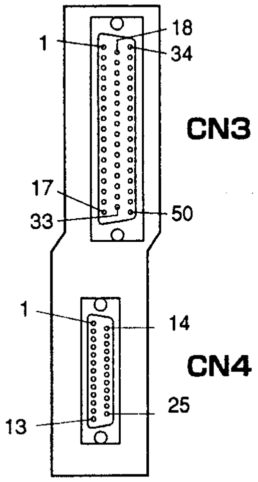


ピン番号	信号	ピン番号	信号	ピン番号	信号
CN4					
4	CLNFD 6 OUT R LO	20	CLNFD 6 OUT R HI	37	SHIELD
6	CLNFD 6 OUT L LO	22	CLNFD 6 OUT L HI	39	SHIELD
8	CLNFD 5 OUT R LO	24	CLNFD 5 OUT R HI	41	SHIELD
10	CLNFD 5 OUT L LO	26	CLNFD 5 OUT L HI	43	SHIELD
12	CLNFD 4 OUT LO	28	CLNFD 4 OUT HI	45	SHIELD
14	CLNFD 3 OUT LO	30	CLNFD 3 OUT HI	47	SHIELD
未使用：1、2、3、5、7、9、11、13、15、16、17、18、19、21、23、25、27、29、31、32、33、34、35、36、38、40、42、44、46、48、49、50					
CN5					
3	CLNFD 1 OUT LO	2	CLNFD 1 OUT HI	1	SHIELD
CN6					
3	CLNFD 2 OUT LO	2	CLNFD 2 OUT HI	1	SHIELD

図3-13　CLEAN（クリーンフィード）モジュール後面のコネクターのピン配置

MACHINEモジュール コネクターのピン配置	ピン番号	信号	ピン番号	信号	ピン番号	信号
	CN3					
	1	MACH1 BUT1	———		34	MACH3 BUT1
	2	MACH1 LAMP1	18	MACH2 BUT1	35	MACH3 LAMP1
	3	MACH1 BUT2	19	MACH2 LAMP1	36	MACH3 BUT2
	4	MACH1 LAMP2	20	MACH2 BUT2	37	MACH3 LAMP2
	5	MACH1 BUT3	21	MACH2 LAMP2	38	MACH3 BUT3
	6	MACH1 LAMP3	22	MACH2 BUT3	39	MACH3 LAMP3
	7	MACH1 BUT4	23	MACH2 LAMP3	40	MACH3 BUT4
	8	MACH1 LAMP4	24	MACH2 BUT4	41	MACH3 LAMP4
	9	MACH1 BUT5	25	MACH2 LAMP4	42	MACH3 BUT5
	10	MACH1 LAMP5	26	MACH2 BUT5	43	MACH3 LAMP5
	11	MACH1 BUT6	27	MACH2 LAMP5	44	MACH3 BUT6
	12	MACH1 LAMP6	28	MACH2 BUT6	45	MACH3 LAMP6
	13	MACH1 BUT COM	29	MACH2 LAMP6	46	MACH3 BUT COM
	14	MACH1 LAMP EXT GND	30	MACH2 BUT COM	47	MACH3 LAMP EXT GND
	15	MACH1 LAMP EXT +5V	31	MACH2 LAMP EXT GND	48	MACH3 LAMP EXT +5V
	16	MACH1 CHASSIS GND	32	MACH2 LAMP EXT +5V	49	MACH3 CHASSIS GND
	17	未使用	33	MACH2 CHASSIS GND	50	未使用

D SUB コネクター
(50ピン、メス)

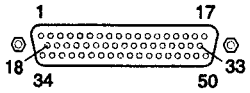


	ピン番号	信号	ピン番号	信号
	CN4			
	1	MACH4 BUT1	———	
	2	MACH4 LAMP1	14	MACH4 LAMP EXT GND
	3	MACH4 BUT2	15	MACH4 LAMP EXT+5V
	4	MACH4 LAMP2	16	MACH4 CHASSIS GND
	5	MACH4 BUT3	17	未使用
	6	MACH4 LAMP3	18	未使用
	7	MACH4 BUT4	19	未使用
	8	MACH4 LAMP4	20	未使用
	9	MACH4 BUT5	21	未使用
	10	MACH4 LAMP5	22	未使用
	11	MACH4 BUT6	23	未使用
	12	MACH4 LAMP6	24	未使用
	13	MACH4 BUT COM	25	未使用

図3-14　MACHINEモジュール後面のコネクターのピン配置

メーターユニットのピン配置（コンソールフレーム側）

D SUBコネクター（50ピン、メス）

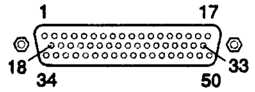


ピン番号	信号	ピン番号	信号	ピン番号	信号
CN1					
1	2 MIX A L		————	34	FRAME GND
2	2 MIX A R	18	AGND	35	+5V
3	2 MIX B L	19	AGND	36	+5V
4	2 MIX B R	20	AGND	37	AGND
5	GP1	21	AGND	38	AGND
6	GP2	22	AGND	39	LED (+) COM
7	GP3	23	AGND	40	2 MIX B LED
8	GP4	24	SPKR AUD AGND	41	CR METER SLCT
9	GP5	25	SPKR AUD AGND	42	SOLO COM
10	GP6	26	SPKR AUD AGND	43	未使用
11	GP7	27	SPKR AUD AGND	44	未使用
12	GP8	28	SPKR AUD AGND	45	未使用
13	LED METER 1	29	SPKR AUD AGND	46	未使用
14	LED METER 2	30	SPKR AUD AGND	47	LAMP COM
15	SPEAKER AUDIO	31	LED METER 3	48	ON AIR LAMP
16	+16V	32	ALARM LAMP	49	REH LAMP
17	-16V	33	AGND	50	CUE LAMP

図3-15　メーターユニットのピン配置（コンソールフレーム側）

メーターユニットのピン配置（メーターユニット側）

D SUBコネクター（50ピン、オス）



ピン番号	信号	ピン番号	信号	ピン番号	信号
CN1					
1	2 MIX A L		————	34	FRAME GND
2	2 MIX A R	18	AGND	35	+5V
3	2 MIX B L	19	AGND	36	+5V
4	2 MIX B R	20	AGND	37	AGND
5	GP1	21	AGND	38	AGND
6	GP2	22	AGND	39	LED (+) COM
7	GP3	23	AGND	40	2 MIX B LED
8	GP4	24	SPKR AUD AGND	41	CR METER SLCT
9	GP5	25	SPKR AUD AGND	42	SOLO COM
10	GP6	26	SPKR AUD AGND	43	未使用
11	GP7	27	SPKR AUD AGND	44	未使用
12	GP8	28	SPKR AUD AGND	45	未使用
13	LED METER 1	29	SPKR AUD AGND	46	未使用
14	LED METER 2	30	SPKR AUD AGND	47	LAMP COM
15	SPEAKER AUDIO	31	LED METER 3	48	ON AIR LAMP
16	+16V	32	ALARM LAMP	49	REH LAMP
17	-16V	33	AGND	50	CUE LAMP

図3-16 メーターユニットのピン配置（メーターユニット側）

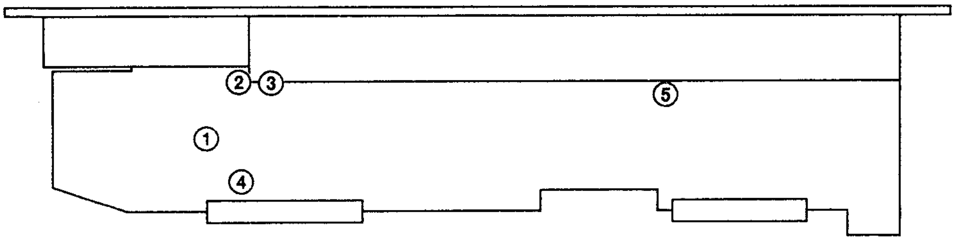
3-4 ジャンパー／スイッチの設定

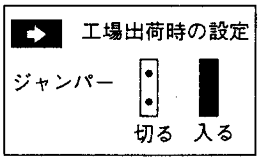
本機は、モジュールや他の部分に装備したジャンパーあるいはスイッチの設定によって、コンソールを使用目的に合わせて、より使いやすくすることができます。工場出荷時の設定は、基準設定または、お客様ご指定の設定になっています。以下、ジャンパーおよびスイッチの位置、それぞれの設定とその機能を説明します。コンソールの設定を現状から変更する場合、あるいは、正しい状態に戻す場合などに、参照してください。

ご注意
以下の項目では、設定が必要なジャンパーとスイッチについて、その設定位置と機能を説明します。説明がないジャンパーとスイッチは、工場設定位置から動かさないようにしてください。

第3章

3-4-1 MONO（モノラル）モジュールのジャンパー／スイッチ





① **設定の目的**：DIRECT OUTコネクターに出力する信号を、ポストフェーダー信号にするか、プリフェーダー信号にするかを選択する。

COR 1 / COR 2 **設定A** DIRECT OUT出力信号はポストフェーダー信号。

または

COR 1 / COR 2 **設定B** DIRECT OUT出力信号はプリフェーダー信号。

② **設定の目的**：FADER START出力のコマンドラインを設定する。

COR 3 **設定A** ＋5Vレベルをアクティブとする外部機器の場合。

または

COR 3 **設定B** 0V（接地）レベルをアクティブとする外部機器の場合。

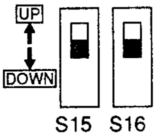
③ **設定の目的**：FADER START出力コマンドのスタート／ストップ制御を、MUTEスイッチで行うか（フェーダーは上がっていること）、またはフェーダーで行うかを選択する。

COR 4 / COR 5 **設定A** フェーダーが上がっている場合、FADER STARTはMUTEスイッチで制御される。（フェーダーが下がっている場合は、スタートできない）

または

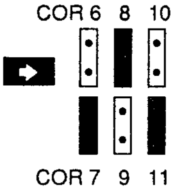
COR 4 / COR 5 **設定B** FADER STARTはフェーダーで制御される。

④ **設定の目的**：MONOモジュールの信号をステレオCLEAN FEEDバスに送出する。



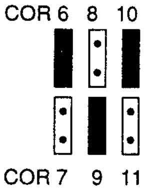
	S15	S16
送出されない	DOWN	DOWN
CLEAN FEEDバス5L-5R	DOWN	UP
CLEAN FEEDバス6L-6R	UP	DOWN
5L-5Rおよび6L-6R（モノラル）	UP	UP

⑤ **設定の目的**：INSERTを、プリイコライザーにするか、ポストイコライザーにするかを選択する。



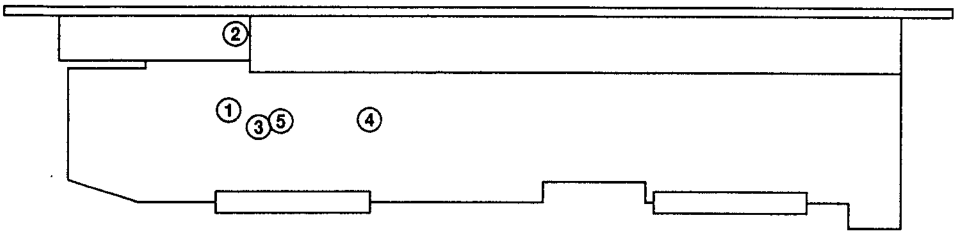
設定A
INSERTはプリイコライザー。

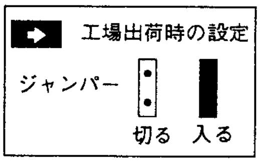
または



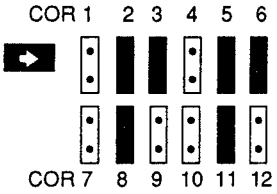
設定B
INSERT ポストイコライザー。

3-4-2 STEREOモジュールのジャンパー／スイッチ



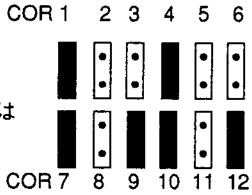


① **設定の目的**：INSERTを、プリイコライザーにするか、ポストイコライザーにするかを選択する。



設定A
INSERTはプリイコライザー。

または

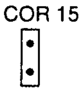


設定B
INSERTはポストイコライザー。

② **設定の目的**：FADER START出力のコマンドラインを設定する。

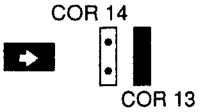
設定A
+5Vレベルをアクティブとする外部機器の場合。

または



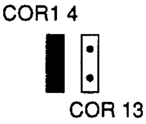
設定B
0V(接地)レベルをアクティブとする外部機器の場合。

③ **設定の目的**：FADER START出力コマンドのスタート／ストップ制御を、MUTEスイッチで行うか（フェーダーは上がっていること）、またはフェーダーで行うかを選択する。



設定A
フェーダーが上がっている場合、FADER STARTはMUTEスイッチで制御される。（フェーダーが下がっている場合は、スタートできない）

または



設定B
FADER STARTはフェーダーで制御される。

④ **設定の目的**：DIRECT OUTコネクターに出力する信号を、ポストフェーダー信号にするか、またはプリフェーダー信号にするかを選択する。

COR 18 / COR 19 / COR 16 / COR 17

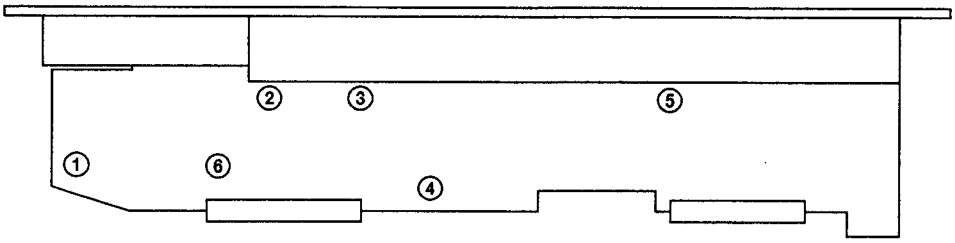
設定A
DIRECT OUT出力信号は、ポストフェーダー信号。

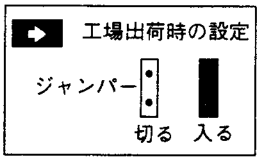
または

COR 18 / COR 19 / COR 16 / COR 17

設定B
DIRECT OUT出力信号は、プリフェーダー信号。

3-4-3 GROUPモジュールのジャンパー／スイッチ





① **設定の目的**：パネル上のフェーダーの機能と回転型つまみ（VCA/GPつまみ）の機能を入れ替える。

COR 6 7 8 9

設定A
フェーダー：グループフェーダーとして機能する。
回転型つまみ：VCAグループフェーダーとして機能する。

または

COR 6 7 8 9

設定B
フェーダー：VCAグループフェーダーとして機能する。
回転型つまみ：グループフェーダーとして機能する。

② **設定の目的**：FADER START出力コマンドのスタート／ストップ制御を、MUTEスイッチで行うか（フェーダーは上がっていること）、フェーダーで行うかを選択する。

COR 1 2

設定A
フェーダーが上がっている場合、FADER STARTはMUTEスイッチで制御される。（フェーダーが下がっている場合は、スタートできない）

または

COR 1 2

設定B
FADER STARTはフェーダーで制御される。

③ **設定の目的**：DIRECT OUTコネクターに出力する信号を、プリフェーダー信号にするか、ポストフェーダー信号にするかを選択する。

COR 3 4

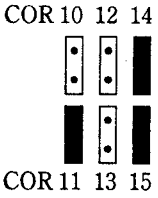
設定A
DIRECT OUT出力信号はポストフェーダー信号。

または

COR 3 4

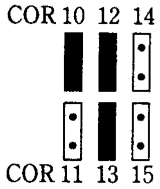
設定B
DIRECT OUT出力信号はプリフェーダー信号。

④ **設定の目的**：INSERTを、プリイコライザーにするか、またはポストイコライザーにするかを選択する。



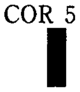
設定A
INSERTはプリイコライザー。

または



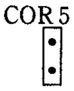
設定B
INSERTはポストイコライザー。

⑤ **設定の目的**：FADER START出力のコマンドラインを設定する。



設定A
+5Vレベルをアクティブとする外部機器の場合。

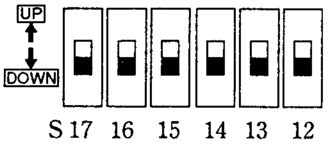
または



設定B
0V（接地）レベルをアクティブとする外部機器の場合。

⑥ **設定の目的**：グループモジュールの信号をCLEAN FEEDバスに送出する。

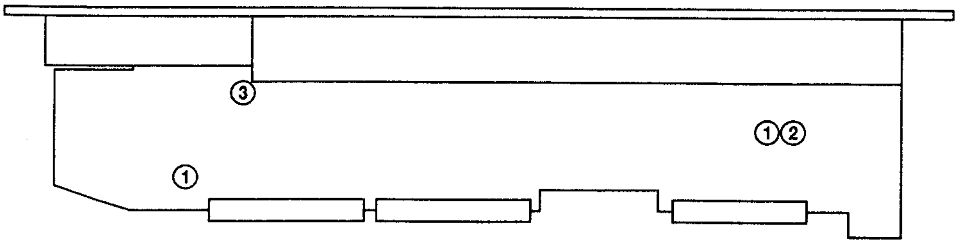
設定A
送出されない（工場設定）。

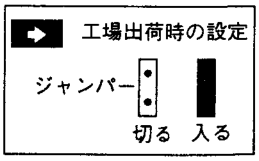


設定B

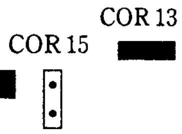
UPに設定した場合	S17	S16	S15	S14	S13	S12
CLEAN FEEDバスへ送出する	6L-6R	5L-5R	4	3	2	1

3-4-4 MASTER A、Bモジュールのジャンパー／スイッチ



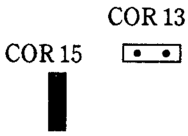


① **設定の目的**：FADER START出力コマンドのスタート／ストップ制御を、MUTEスイッチでおこなうか（フェーダーは上がっていること）、フェーダーで行うかを選択する。



設定A
フェーダーが上がっている場合、FADER STARTはMUTEスイッチで制御される（フェーダーが下がっている場合は、スタートできない。）

または



設定B
FADER STARTはフェーダーで制御される。

② **設定の目的**：FADER START出力のコマンドラインを設定する。

COR 4

設定A
+5Vレベルをアクティブとする外部機器の場合。

または

COR 4

設定B
0V（接地）レベルをアクティブとする外部機器の場合。

③ **設定の目的**：INSERTを、プリフェーダーにするか、ポストフェーダーにするかを選択する。

設定A
INSERTはプリイコライザー。

COR 1からCOR 12

プリフェーダーへ			
COR 1	IN	COR 7	OUT
COR 2	OUT	COR 8	IN
COR 3	IN	COR 9	OUT
COR 4	OUT	COR 10	OUT
COR 5	IN	COR 11	OUT
COR 6	IN	COR 12	IN

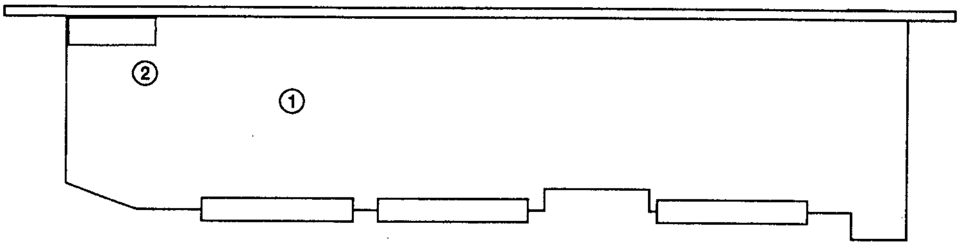
または

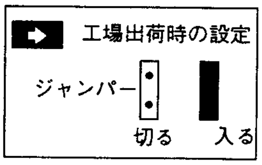
設定B
INSERTはポストイコライザー。

COR 1からCOR 12

ポストフェーダーへ			
COR 1	OUT	COR 7	IN
COR 2	IN	COR 8	OUT
COR 3	OUT	COR 9	IN
COR 4	IN	COR 10	IN
COR 5	OUT	COR 11	IN
COR 6	OUT	COR 12	OUT

3-4-5 MONITORモジュールのジャンパー／スイッチ

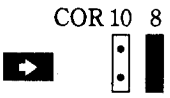




① **設定の目的**：コンソールに挿入するMONITORモジュールの本数によって設定する。
従って、MONITORモジュールを1本にする（または2本挿入する場合は、1本目のモジュールにする）か、または2本挿入する場合は、2本目のモジュールにするかを設定する。

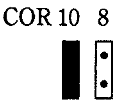
	設定A： 1本のMONITORモジュールを挿入する場合（2本のモジュールを挿入する場合は、1本目のモジュールにする）	**設定A**： 2本目のMONITORモジュールにする場合
COR 3	IN	OUT
COR 4	IN	OUT
COR 5	IN	OUT
COR 6	IN	OUT
COR 7	IN	OUT
COR 9	IN	OUT
COR 11	IN	OUT
COR 12	IN	OUT

② **設定の目的**：コントロールルームのスピーカーに対して、ミュート制御するか、または、ディム制御するかを選択する。



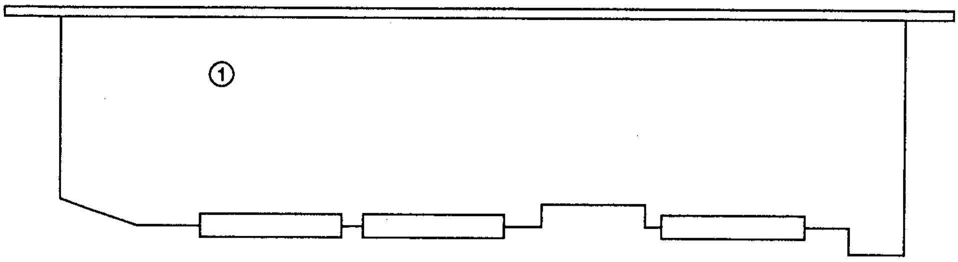
設定A
ミュート制御する。

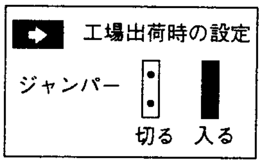
または



設定B
ディム制御する。

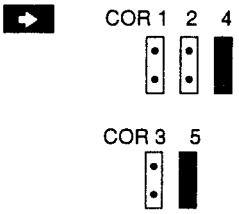
3-4-6　COMM（コミュニケーション）モジュールのジャンパー／スイッチ





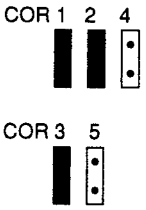
① **設定の目的**：内蔵マイクロホンか、トークバック用外部マイクロホンかを選択する。

設定A：内蔵マイクロホンが有効。

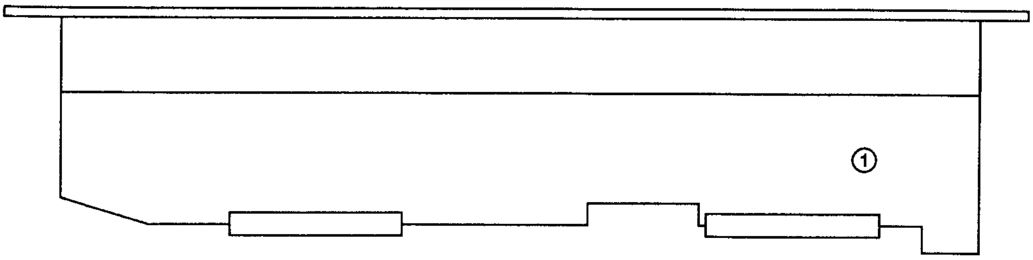


または

設定B：トークバック用外部マイクロホンが有効。



3-4-7　DYNAMICSモジュールのジャンパー／スイッチ



① **設定の目的**：該当モジュールのダイナミクスモードを、1〜4モードにするか、5〜8モードにするかを選択する。

	設定A（工場設定） 1〜4モードが選択される。 (1本のDYNAMICSモジュールを使用する場合、あるいは、2本使用する場合の1本目のモジュール)	**設定B** 5〜8モードが選択される。 (DYNAMICSモジュールを2本使用する場合の2本目のモジュール)
S14	UP：センドバス1〜4にアサインされる。	DOWN：センドバス5〜8にアサインされる。
S16	UP：リターンバス1〜4にアサインされる。	DOWN：リターンバス5〜8にアサインされる。

ご注意

S14とS16はかならず同じ設定にしてください。

3-4-8　MACHINEモジュールのジャンパー／スイッチ

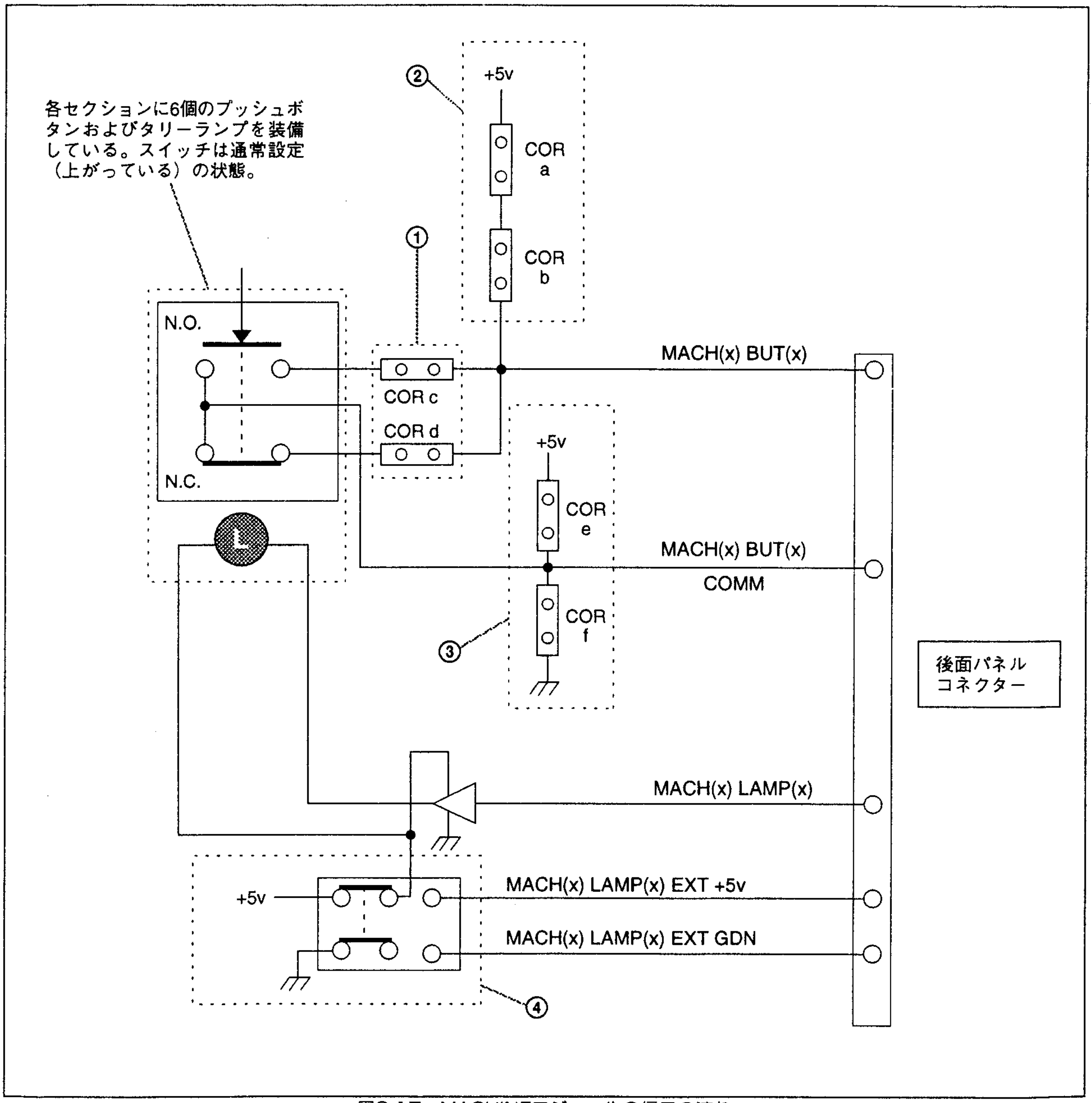
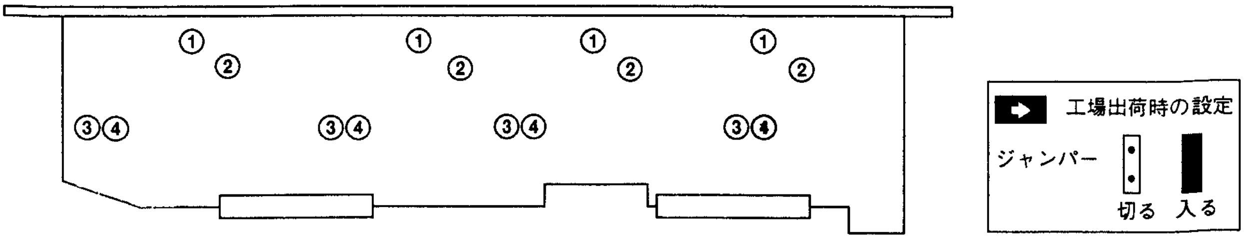


図3-17　MACHINEモジュールの信号の流れ



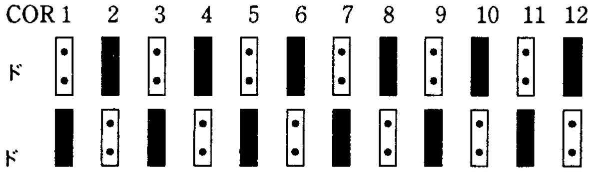
① **設定の目的**：通常設定（上がっている）時のスイッチの動作を、オープンか、クローズか選択する。

次の設定は、前ページの図3-17「MACHINEモジュールの信号の流れ」の①のCOR cおよびCOR dの設定を、MACHINE 1ブロックを例に示したものです。MACHINE2～4については、表中のCOR番号とMACHINE 1のCOR番号を対象の上、設定をAまたはBにしてください。

MACHINE 1の場合

➡ **設定A：**
スイッチのモード：ノーマルクローズモード

設定B：
スイッチのモード：ノーマルオープンモード



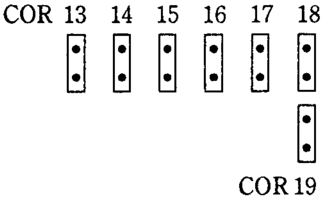
COR	c	d	c	d	c	d	c	d	c	d	c	d
MACHINE 1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
MACHINE 2	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
MACHINE 3	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54
MACHINE 4	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75

② 設定の目的：スイッチの出力ラインを設定する。

次の設定は、前ページの図3-17「MACHINEモジュールの信号の流れ」の②のCOR aおよびCOR bの設定を、MACHINE 1ブロックを例に示したものです。MACHINE2～4については、表中のCOR番号とMACHINE 1のCOR番号を対象の上、設定AまたはBしてください。

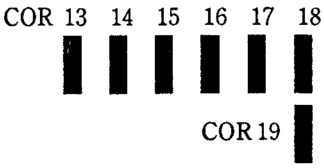
MACHINE 1の場合

➡ **設定A：**
スイッチの出力は、浮いている。外部機器で設定する。



MACHINE 1	[COR b]	13	14	15	16	17	18
	[COR a]						19
MACHINE 2	[COR b]	34	35	36	37	38	39
	[COR a]						40
MACHINE 3	[COR b]	55	56	57	58	59	60
	[COR a]						61
MACHINE 4	[COR b]	76	77	78	79	80	81
	[COR a]						82

設定B：
スイッチの出力はコンソール内部の+5Vにプルアップされている。

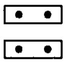


③ **設定の目的**：スイッチのコモンラインを設定する。

次の設定は、図3-17「MACHINEモジュールの信号の流れ」の③のCOR eおよびCOR fの設定を、MACHINE 1ブロックを例に示したものです。MACHINE2〜4については、表中のCOR番号とMACHINE 1のCOR番号を対象の上、設定AからCにしてください。

MACHINE 1の場合

➡ **設定A**
COMMONラインは浮いている。外部機器で設定する。
COR 20
COR 21



設定B
COMMONラインはグランドに接続している。
COR 20
COR 21

設定C
COMMONラインは+5V DCに設定されている。
COR 20
COR 21

設定D
この設定にしないこと。
COR 20
COR 21

MACHINE 1	COR e	20
	COR f	21
MACHINE 2	COR e	41
	COR f	42
MACHINE 3	COR e	62
	COR f	63
MACHINE 4	COR e	83
	COR f	84

④ **設定の目的**：タリーランプのために、内部電源または外部電源から、+5V DCを供給する。

次の設定は、図3-17「MACHINEモジュールの信号の流れ」の④の設定を、MACHINE 1ブロックを例に示したものです。MACHINE2〜4については、表中の番号のスイッチ番号を設定AまたはBにしてください。

➡ **設定A**
内部電源

または

設定B
外部電源

MACHINE 1	S1
MACHINE 2	S2
MACHINE 3	S3
MACHINE 4	S4